

The 70th Anniversary 2000→2009

SKI ASSOCIATION of KANAGAWA

(財) 神奈川県スキー連盟創立70周年記念
神奈川県スキー史



目次

(財)神奈川スキー連盟
創立70周年記念

神奈川県スキー史



| | |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| 創立70周年を迎えて—ありがとう。そして、これからも。— | 1 |
| 会長 河野 洋平 | |
| 積善の家には必ず余慶あり—人類が創造した楽しいスノースポーツを— | 2 |
| 専務理事 片 忠夫 | |
| 記念式典・祝賀会 | |
| 新会長あいさつ | 3 |
| 協賛会員感謝の会、記念式典、祝賀会の記録 | 4 |
| お祝いの言葉 | 7 |
| 神奈川県教育長 山本 正人 | |
| 発刊によせて | 8 |
| (財)神奈川県体育協会 会長 山下 泰裕 | |
| 祝辞 | 9 |
| (財)全日本スキー連盟 会長 伊藤 義郎 | |
| 祝辞 | 10 |
| (財)東京都スキー連盟 会長 杉崎 壽三男 | |
| スキー界活性化のためさらなる発展を | 11 |
| 千葉県スキー連盟 会長 渡辺 忍 | |
| 神奈川県スキー連盟創立70周年によせて | 12 |
| 車山高原スキー場 信州総合開発観光(株) 代表取締役 飯島 清重 | |
| 神奈川県スノースポーツの歴史 | 13 |
| 新たな飛躍への挑戦 | |
| スキーの普及、発展のために | SAJデモンストレーター 佐藤 拓也 16 |
| 70周年に思う | 教育本部 堀 祐樹 17 |
| スノーボードの楽しさ | 川崎スキー協会 PRIDE 益子 茜 17 |
| 夢を叶えるために | 相模女子大学中学部 川本 莉愛 18 |
| 全国大会も夢ではない | ショーナンキッズ 皆川 大弥 18 |
| スキー競技を通じて | 相模原スキー協会 スキークラブカメ 縄田 尊司 19 |
| チェアスキーヤーとして、指導者として | 小田原スキー協会 トライアルスキークラブ 井上 英年 19 |
| パトロールはカッコいい! | 安全対策委員会 上杉 一哲 20 |
| 歴代役員 | 21 |
| 加盟団体紹介 | 25 |
| 10年間の成績(2000年〈平成12年〉～2009年〈平成21年〉まで) | |
| 指導員合格者 | 31 |
| 準指導員合格者 | 33 |
| SAJスノーボード指導員合格者 | 35 |
| 神奈川県スノーボード指導員合格者 | 35 |
| SAJスノーボード準指導員合格者 | 36 |
| 神奈川県スキー技術選手権大会成績 | 37 |
| 全日本スキー技術選手権大会成績 | 38 |
| 神奈川県スキー選手権大会成績(アルペン男子) | 39 |
| 神奈川県スキー選手権大会成績(アルペン女子) | 40 |
| 神奈川県スノーボード選手権大会 | 41 |
| 神奈川県総合体育大会・総合成績記録 | 44 |
| 国民体育大会冬季大会スキー代表選手 | 45 |
| 表彰者 | |
| 功労者表彰受賞者 | 47 |
| 特別功労者表彰受賞者 | 47 |
| 優秀選手表彰受賞者 | 47 |
| 感謝状受賞者 | 47 |

創立70周年を迎えて

ありがとう。そして、これからも。



財団法人 神奈川県スキー連盟

会長 **河野 洋平**

先人の偉業に敬意をはらいながら今日まで雪なし県のハンデを乗り越え、スノースポーツの発展に努力してきましたが、お陰さまで本年ここに、創立70周年を迎えることができました。

これもひとえに、関連諸団体・協賛各企業のご支援、並びに会員皆様のご協力の賜物と、心より感謝を申し上げます。そして、記念式典・同祝賀会では多くの皆さんと、これまでの足跡や未来への夢について語り合えたことは、誠に意義深いものがあり、喜びにたえないところでもあります。

思い起こせば第二次世界大戦が勃発した1939年、横浜の地において産声をあげた私も神奈川県スキー連盟は、スキーの普及と発展、健全なスポーツマンシップの醸成、会員相互の技術向上などを柱に、歴代役員を中心に活動の幅を広げてきました。

このところ、スキー界逆風の影響を受けて、基盤に若干減少傾向が見られるものの、会員数も5,600人台を維持、スキー・スノーボード指導者数は2,500人と“雪に恵まれた地域の道・県連”に比べても、決して見劣りのしない組織として、発展する事ができました。また1996年には、財団法人の認可を取得し、県内のスノースポーツ振興に向け、新たな第一歩を踏み出すこともできました。

最近では、全国でも初めて「スキー準指導員検定の単位制」を導入するなど、先進的な試みを実施するとともに、「一貫指導によるジュニア競技選手の育成」や「障害を持つハンデキャップスキーヤーの支援」「スキー場環境の向上」など、社会貢献的分野にも踏み出した活動を進めてきたところです。

また、今年2月開催された「トキメキ新潟国体」では、田村選手が3位とノルディックで神奈川の女子選手としては、初めて表彰台に昇ることができました。アルペンでも木田選手が4位と2年連続で入賞するなど、成年女子の大健闘により、約30年ぶりに皇后杯の7位入賞を果たし、70周年に華を添えることができました。

昨今、私たちを取りまく環境は、スキー人口の減少やスキー場の経営悪化などに象徴されますように、厳しい逆風下の中にあります。そこで創立70周年という記念すべき節目の年を、単なるアニバーサリーイヤーに終わらせる事なく、未来に向けて飛躍する足がかりの年にしていきたいと考えています。

“自然が創り出す素晴らしい雪山のロケーションに感動しながら、真っ白いゲレンデを、一気に滑り降りる爽快感・楽しさ”は、正に冬のスポーツの醍醐味であり、他のスポーツでは味わうことのできない、大きな魅力でもあります。

加盟している21の協会はもとより、そこに集う会員皆さんや関連する諸団体との連携を更に密にし、多くの仲間とスノースポーツの楽しさや感動を共有したり、もっと身近に感じてもらえるよう活動を続け、歴史を積み重ねていきたいと願っています。

これからも、一層のご支援・ご協力を重ねてお願いし、お祝いの言葉といたします。



積善の家には必ず余慶あり

人類が創造した楽しいスノースポーツを

財団法人 神奈川県スキー連盟
専務理事 **片 忠夫**

神奈川県スキー史の輝ける大きな重みを受け、ここに財団法人神奈川県スキー連盟は70年の節目を迎えました。

日本へのスキーロードを紐解くと、人類の発生→スキー誕生、古代スキー→スカンジナビアのスキー→ナンセンの書によって欧州へ伝授→アルペンスキー、開祖ズダルスキー、近代スキー→その申し子レルヒ少佐→日本のスキー誕生となります。（「スキーの誕生」中野 理著より）

改めて、（財）神奈川県スキー連盟の結成当時（昭和14年／第二次世界大戦勃発）の見事なまでにスキーを組織化された素晴らしい先輩諸兄に、感謝の念を禁じ得ないのは私一人ではないと確信いたします。

「歴史」と「文化」「伝統」を背負い、幾多の困難をも乗り越えてきました。また、財団法人として組織運営でも12年の歳月が流れています。伝統継承の一翼を担っている者としてその原動力となったのは、スノースポーツをこよなく愛し続けてくれた「会員」の「深き愛情」に他なりません。改めて心から感謝申し上げます。ありがとうございました!!

スノースポーツは「雪山において人間工学に基づき、人類が創造した素晴らしい文化の集大成」と認識いたしております。その意味でも「楽しいスノースポーツ」を標榜するのはごくごく自然であり、先輩諸兄の「意思」の声と受け止め、今日までの組織運営の基本理念としてまいりました。

今や我が国は大変厳しい経済状況下であり、生活様式が一変しました。スポーツ界は大きく変貌を遂げ、新しい世界を構築しようとしています。

北京五輪後、スポーツへの国民意識はより一層高まり、文部科学省を動かして強化費用を増額するに至りました（しかしながらまだまだ不足です）。

私たちは自然の中で行うスノースポーツをこよなく愛するものです。

今日の複雑化した人間社会はこの「自然を愛する心、気持ち、尊敬」を、時として忘れ、私欲に置かれてしまいがちです。スキーの「魅力」に魅せられた者として、自戒の念を含め今こそ、昭和14年「孤高の産声」あげた基本理念に戻り「生きる精神」を大切にしながら走り続け、次代へと伝えていきたいと考える次第です。

祝賀会準備、年史の編纂、表彰等々を準備するに当たり加盟団体、所属団体、協賛各社等には大変にお世話になり、今後ともその友情の絆を深め、心から感謝申し上げます。最後に会員、そしてご家族の皆様方のご健康、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

70周年おめでとうございます!!

財団法人 神奈川県スキー連盟 創立70周年記念式典

2009年（平成21年）10月3日 横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ

- 協賛会員感謝の会 —— 5階 柏
- 記念式典（表彰）—— 4階 清流
- 祝賀会 —— 5階 日輪

財団法人 神奈川県スキー連盟
会長 **河野 太郎**

新会長あいさつ



ご紹介いただきました、河野太郎でございます。神奈川県スキー連盟創立70周年記念式典に、大勢の来賓の皆さんに足をお運び頂きまして、このように盛大に開催できましたことを、心よりお喜び申し上げます。

過日、神奈川県スキー連盟の役員の皆様がお見えになって、「70周年記念式典をもって現会長が勇退をするので会長をやれ」というお話を頂戴いたしました。普通ならば、その場で一生懸命やりますとお返事するところですが、前任者が前任者でありますので、少々躊躇いたしまして、「役に立たなければ、いつでも首にしてください」ということで、お引き受けをいたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

前任者のスキーの実力につきましては、我が家の中でもタブーとなっておりますので、実は私もよく存じてはおりません。

私は、「私をスキーに連れてって」という映画がございましたが、まあ、だいたいあの世代でございまして、新宿の駅から夜行バスで、あっちこっちのスキー場へ行きまして、またそのバスで帰ってくるということをやっていました。アルペンはその程度であります。ノルディックの方は、留学した先がアメリカのコネチカット州というところでもございました。私は、ずっと陸上の長距離をやっておりました。

留学先ではクロスカントリーのレースもやっておまして、留学先の高校のクロスカントリーの先生に「お前走れるならスキーもやれ」と言われました。スキーはやったことがありませんと答えますと、「だめなら板を付けて走れ、お前ならできる」と言われまして、クロスカントリーのスキーのチームに入れていただきました。それが、ワックスのことなど訊こうものなら、「正しいフォームで滑っていればワックスなど必要ない」などと、旧帝国陸軍のようなことを言う先生でしたので、最後まであまり成績は振るいませんでした。それでも、大自然の中をスキーで颯爽と、あまり颯爽とは行かなかったかもしれませんが、走り抜けていく醍醐味を味わうことができました。少し、スキーを楽しませていただきましたものですから、お役に立てるなら、そのころのご恩返しを一生懸命させていただければと思っております。

先ほどの皆様のお話にもありましたように、スノースポーツ全体の人口が少し減っているということでもございます。少子高齢化もあり、地球温暖化という問題もあって、そう言われればそうかなという気もいたしますが、やはりスノースポーツというものは、いろいろな人に楽しんでいただけるスポーツだと思います。神奈川県のスノースポーツ人口がきちんと底辺拡大されますと、神奈川県のスノースポーツのレベルも向上していくと思います。ピラミッドの底辺と頂点の両方を、大きくできるようなお手伝いができれば幸いです。

一生懸命務めさせていただきますので、ご来場の皆様には引き続き前任者同様、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。神奈川県スキー連盟の更なる発展と本日お集まりの皆さんのご健勝、そして神奈川県の手先の皆様のご活躍を、心よりお祈り申し上げます。今後ともどうかよろしくお願いいたします。

協賛会員感謝の会



感謝の会、協賛会員の方々と。いつもありがとうございます。

記念式典(表彰)

スポーツに感動したい人



河野洋平会長のメッセージを野地副会長が代読。

功労者332名、優秀選手56名が表彰されました。



お祝いのスタンド花も届きました。

スポーツに感動したい人集まれ



祝賀会



開会あいさつは、山田副会長。



片専務理事からは、SAK10年の歩みが。



伊藤SAJ会長より祝辞をいただきました。



県体協石原春男専務理事より祝辞をいただきました。



急用のため出席が叶わなかった河野洋平会長のビデオによる挨拶。

—メッセージ骨子—

- ・お礼とお祝いの言葉
- ・歴代役員への謝意
- ・退任挨拶と新体制への激励



(財)東京都スキー連盟 杉崎壽三男会長が乾杯の音頭を。

上越国際スキー場、尾瀬戸倉スキー場、白馬五竜47観光協会、信州総合開発観光(車山)からはお祝いの地酒が。みんなで鏡割りです。





司会が会場を華やかにしてくれました。アシスタントもプロ級？



アトラクションでは歌手のHannaさんが、新潟から駆けつけ、花をそえてくれました。



ここは、公バト、ノルディックのグループです。ノルの選手は、体脂肪が○%だそうです。菊地競技本部長は？



みなさん、思い思いのグループで懇親を深めました。



お祝いの言葉

神奈川県教育委員会

教育長 **山本 正人**

財団法人神奈川県スキー連盟が創立70周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

貴連盟には、昭和14年の設立以来、今日に至るまでの長きにわたり、本県におけるスキーの普及・振興に多大なるご尽力をいただいております。私どもが主催いたします県総合体育大会冬季大会においても、主管団体としてご協力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

近年、ライフスタイルの変化により、子どもや高齢者、障害者など誰もがスポーツに親しめる環境づくりが求められている中、県教育委員会においては、運動やスポーツの習慣化を図る「3033（サンマルサンサン）運動」の推進や、「県民スポーツ週間」の設置など、生涯スポーツ社会の実現を目指して、さまざまなスポーツ振興施策に取り組んでいます。

こうした中、貴連盟では、県民スキースクールや障害者のためのスキー教室の開催、指導者の育成など、誰もが自分の年齢や体力に応じてスキーに親しめる環境づくりに取り組まれ、県民の皆様にはスキーの魅力を伝えておられます。

一方、競技スキーの振興においては、ジュニア世代の育成に力を注がれ、国民体育大会等においては雪なし県という壁を乗り越え、生まれも育ちも神奈川の選手の上位シード獲得や入賞を目指し、その目標へ着実に近づいていると伺っております。

これらは、河野会長をはじめ歴代の役員及び関係の皆様のためまぬ努力と情熱の賜物であり、ここに敬意を表しますとともに、今後ともスキーの普及・振興を通じて本県のスポーツ活動の推進に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、創立70周年を契機とした財団法人神奈川県スキー連盟のさらなるご発展と、会員の皆様のみまますのご活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



発刊によせて

財団法人 神奈川県体育協会

会長 **山下 泰裕**

財団法人神奈川県スキー連盟が、ここに創立70周年を迎えられたことに心よりお喜び申し上げますとともに、貴連盟の輝かしい足跡を語る「記念誌」を発行されますことを心からお喜び申し上げます。

顧みれば貴連盟は、昭和14年に神奈川県スキー山岳連盟として結成されました。

その後、昭和29年に神奈川県スキー連盟へ、平成8年には、法人格を取得して現在の財団法人神奈川県スキー連盟へ変遷を遂げてまいりました。

その間、雪なし県という悪条件の中、スキー競技の普及振興にご尽力され、現在は、20市町協会と1学校団体が加盟し、約260の所属クラブと5,600名を超える登録者を有する大組織にまで育て上げましたことは、多く諸先輩のご努力の賜物と感じ深甚な敬意を表す次第であります。

現在、我が国は、政治、経済、文化など様々な分野で、変革が急速に進む中、余暇の増大や日常生活の多様化によって、スポーツに対する関心が高まってきております。こうした中、貴連盟は世界に羽ばたくジュニアの育成をはじめ、ハンディキャップのある方々にスノースポーツを体験していただくための事業等を積極的に実施されるとともに、自ら愛するスキーを末永く行うための自然との共生等の課題に早くから取り組んで来られました。

このようにトップアスリートの育成からすそ野を広げるための普及事業までスポーツを多面的にとらえた取り組みは大変意義深いものであり、今後ともこのような幅広い事業展開されることを期待するとともに、スポーツを通じて豊かで活力のある神奈川の実現に更なるお力添えを賜りますことを心からお願い申し上げます。

最後になりますが、創立70周年を迎え、貴連盟がますますご発展されますことを心から祈念して発刊に寄せることばいたします。



祝辞

財団法人 全日本スキー連盟

会長 **伊藤 義郎**

財団法人神奈川県スキー連盟の創立70周年、誠におめでとうございます。また、その輝かしい足跡をまとめた記念誌を発刊されますことを、心からお祝いを申し上げます。

貴連盟は、昭和14年に創立以来70年の長きにわたり、幾多の困難を乗り越えてスキーを始めとするスノースポーツの普及発展のためご尽力され、多くのスキー愛好家を育成するとともに、地域に相応しい多数の指導者を輩出されたことは、ひとえに貴連盟の努力の賜物と深く感謝いたします。

近年は、地球温暖化、スノースポーツやレジャーの多様化等スキーを取り巻く環境はめまぐるしく変化し、スキー界への影響も少なくありません。

全日本スキー連盟は貴連盟と共に、スノースポーツの普及振興を通じて国民の健康及び体力の増進をはかり、地球温暖化防止活動等スノースポーツの発展に引き続き努力をしていく所存です。

おかげさまで近年は、世界選手権やワールドカップ等、各種国際競技会において日本選手が目覚ましい活躍をしています。全日本スキー連盟といたしましても世界に通用する競技者の育成により一層努力をしてまいります。

神奈川県スキー連盟におかれましても、70周年というこの記念すべき年をひとつの節目に、今後益々のご発展をお祈り致しますと共に、これまでの貴連盟のご尽力に感謝申し上げ、関係各位のご健勝とご活躍を願って、お祝いの言葉といたします。



祝辞

財団法人 東京都スキー連盟

会長 **杉崎 壽三男**

このたび財団法人神奈川県スキー連盟が、創立70周年という新たな節目を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴連盟は戦時のなか、昭和14年（1939）に財団法人全日本スキー連盟寄附行為にもある、「スキーの普及及び振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与すること」を目的として設立され、県民スポーツの中心的な役割を担ってこられました。

平素私共とは、隣県として雪なし県の共通課題でもある、スキー場へのアクセス、スキー会場の選択等に苦勞を共にして今日に至っております。全日本スキー連盟は、寄付行為の運用上の便宜を図るため地域性等を考慮して、日本列島を北海道から西日本に加えて学連の8ブロックに分けております。

神奈川県・千葉県・東京都は南関東ブロックと称して、評議員会・役員選出・技術指導者及び競技選手の派遣等の事業に参加し、交流のなかからスキー界にも数多くの歴史を刻んでまいりました。

今や、スキー界は100年に一度の世界的不況、地球温暖化による雪不足の傾向に加え、少子・高齢化など様々な影響を受け、私達にその打開策が求められています。

かつては全国のスキー場を賑わした要因のひとつに、都会スキーヤーの活躍があったと言われておりました。

私共の3県は全国でも登録会員は、他県に比して群を抜いて多数を誇っております。今後のスキー界の振興の為にも、南関東ブロックの奮起は大いに役立つと確信をしております。工夫と力を寄せ合い、ジュニア・チルドレンに加えて、中高年へと巾を広め、新しい道への開拓を望むものであります。

どうか貴連盟におかれましても、70年の伝統と輝かしい歴史のもと、指導者育成と競技力向上に更なるご活躍をされることを期待しています。

結びに、貴連盟の今後益々のご発展とご活躍を祈念して祝辞といたします。

Schi Heil!



スキー界活性化のため さらなる発展を

千葉県スキー連盟

会長 **渡辺 忍**

財団法人神奈川県スキー連盟が創立70周年を迎えられたことに対し、まずは心よりお喜び申し上げます。70年という長い歴史を支えてこられた原動力の一つは、貴連盟が常に財団法人全日本スキー連盟に重責の役員として輩出された多くの先達の方々をはじめとして、貴連盟の歴代の役員の方々のスキーに対する情熱と努力の結晶であり、その歴史の重厚さに、あらためて心より敬意を表します。

また、わが千葉県と同様、雪無し県でありながら競技力の向上をはじめとして普及事業においても常に高い実績を上げられていることに対し、いつも羨望の的であり、かつ規範としているところであります。

さて、近年、スポーツやレジャーに対する価値観が多様化してゆく中で、その上地球温暖化が危惧され、経済的社会情勢などの大きな変革も重なり合って、スキー界をとりまく情勢は一段と厳しい状況になりつつあります。

わが千葉県スキー連盟の故・金井英一郎会長が生前よく言われていた言葉を引用するなら「かつてスキーは一兆円のスポーツ・レジャー産業で、雪無し県から冬ともなると民族大移動して雪国経済を支えてきたんだよ。」と、まさしく首都圏である東京・神奈川・千葉のスキーヤーは、雪国経済を支え、首都圏の人々は、雪国という文化と白銀の大自然からの恩恵を享受してきました。

某新聞社の調査によると、親が子供に習わせたいスポーツの第一位は「スキー」となっています。まだまだ悲観すべきではないということです。

かつてのスキーブームの再来は期待できないにしろ、日本に四季があり冬が到来すれば、あの白銀に輝く雪山という大自然の中で、人々にあの感動を与えてくれる「スキー」という文化を末永く後世に引き継いでゆきたいものです。

これからも貴連盟が日本のスキー界から期待される存在となり、さらに発展されますことを心よりご祈念申し上げます。

幸いにも同じ南関東ブロックであるわが千葉県スキー連盟も、スキー界活性化のため微力ながら努力してまいりますので、今後とも友好とご指導を賜りますことをお願いし、お祝いの言葉とさせていただきます。



神奈川県スキー連盟 創立70周年によせて

車山高原スキー場
信州総合開発観光株式会社

代表取締役 **飯島 清重**

神奈川県スキー連盟創立70周年を迎えられまして、誠にありがとうございます。70周年そしてその偉大なる足跡を70周年記念誌として刊行されるにあたり、心よりご祝辞を申し上げます。

1939年創立以来、歴代役員の皆様をはじめ、スノースポーツを愛する神奈川県スキー連盟の会員の皆様方のお力により、隆々として70周年を迎えられたことに感銘を受けますとともに、深く敬意を表する次第でございます。

役員の皆様をはじめ会員の皆様方におかれましては、スノースポーツの振興のため、雪を追って各スキー場をご利用頂きまして、その活動の場をご提供できますことを嬉しく思います。本誌をお借りし厚く御礼を申し上げます。

かつて隆盛したスノースポーツも、年々減少の一途をたどっております。レジャーの多様化・少子高齢化・厳しい経済環境等、その影響はますます顕著になってくるものと思われます。そんな中ではありますが、日本の冬を代表するスノースポーツこそ、「健全な精神の育成と健康増進」の基礎となり、神奈川県スキー連盟の皆様方が目指す「生涯スポーツ」の一つとして支持されてゆくものと信じており、それは時代を超えて脈々と受け継がれてゆくものと、その取り組みに期待するところでございます。

スキー場と致しましても「明るく楽しい安全なスキー場」のご提供を「誠心誠意」継続するとともに、連盟の皆様方とも協力しあいながら、スノースポーツの振興に全力をあげてまいる所存でございます。どうかご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、神奈川県スキー連盟の益々のご発展と、役員の皆様、各会員の皆様方の御健勝を御祈念申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。

神奈川県スキー連盟70周年本当におめでとうございます。

神奈川県スノースポーツの歴史

(10年史)

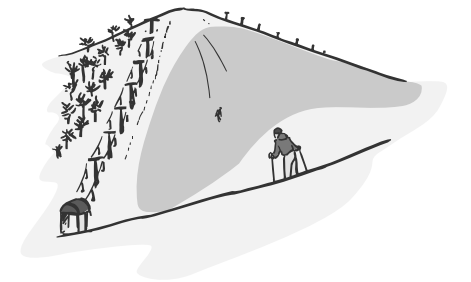
財団法人として実質的な運営を行ったこの10年でした。法人移行の良さが随所に出たと思われまます。事業運営の充実を図るため、理事定数は25名(監事含め27名)をマックスとし、意見反映の場である評議員会の定数を50名まで引き上げ、運営してまいりました。その中において、経済状態は悪化の一途をたどり、バブル崩壊、低経済成長時代へと突入し、更には100年に一度という世界経済同時不況と重なり、私たちの生活様式が一変するに至りました。

時を同じくして、地球温暖化が社会問題化し、雪不足で事業の開催への影響が出始め、連盟としても小さなことから、出来ることからこの問題に取り組みを始めた時代でもあり「スキー環境」としては大変な厳しさを余儀なくされることとなりました。

経済情勢の変化はいつの時代でも起こりうる問題で、大切なのは社会動向を見極めながら運営・事業改革を

進め「会員」のための組織に徹することが重要と確信し、その実行を進めてまいりました。




未だ「道半ば」が実感であります、70周年の節目として整理し、更なる「雄飛」へと会員・加盟団体・所属団体・協賛会員と共に歩みを進めたいと決意した時代であったといえます。



| 神奈川県スキー連盟の出来事 | このころの出来事 |
|--|---|
| <p>1999年度(平成11年6月~12年5月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●理事定数25名(監事含め27名)、評議員50名に寄付行為を変更(1999年7月9日県教育庁認可日) ●創立60周年記念事業が催される 1999.10 県スキー連盟創立60周年記念式典及び祝賀会が、10月10日横浜駅前のベイシェラトン&タワーズで開催された。 式典は、河野会長代理井出氏のあいさつから始まり、来賓のSAJ教育部長丸山庄司氏の祝辞の後、山田専務理事から法人化からのこの10年間の連盟の歩みを報告した。引き続き、功労者の表彰、協賛会員に感謝状の贈呈が行われ、功労者表彰は横浜スキー協会の相澤重明氏と法人化の立役者である柴田伸彦氏、優秀選手は国体優勝の大森陸弘選手に、協賛会員は信州総合観光開発の山崎和雄代表取締役役に贈られた。そして、記念講演として、長野オリンピックノルディック複合で大活躍した、荻原兄弟の荻原次晴選手の楽しい講演会が行われ、多くの参加者に爽やかな感銘を与えた。 ●ハンディキャップ委員会を設置 「生涯スポーツとしてのスキー」への取り組みの一環として、全国に先駆けてハンディキャップ委員会を総務本部に設置し、各種大会や行事に障がいを持つ方々がハンディキャップを感じることなく参加できる体制づくりの検討を開始した。 | <p>だんご3兄弟、ヒット</p> <p>4/7 西武、松坂大輔デビュー</p> <p>9/30 東海村核燃料施設で臨界事故</p> <p>3/4 ソニープレイステーション2発売</p> |
| <p>2000年度(平成12年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●松浦益司郎元SAJ副会長 逝去 ●第1回障がいをもつ人のためのスキー教室開催 2001.1 前年より、県連内部にハンディキャップ委員会を設立し、障がい者のスノースポーツへの参加について、教育・競技両本部との検討を重ね、1月の五竜。行事の中で受講者17名、指導者45名の参加を得て、初の開催となった。 | <p>8.18 三宅島噴火</p> <p>9.15 シドニーオリンピック開催</p> <p>11.11 イチロー、シアトル・マリナーズ入団決定</p> |



| 神奈川県スキー連盟の出来事 | このころの出来事 |
|---|---|
| <p>2001年度(平成13年度)</p> <p>●第1回神奈川県・千葉県スキー技術選手権大会を開催 2002.1.25～27 車山高原スキー場で、千葉県と合同でスキー技術選手権大会を開催した。これは①硬いバーンで全日本技術選手権大会の予選となる県技術選を行いたい。②千葉県と県技術選の段階で他県の選手の滑りに触れ、マンネリ化を防ぎ技術的活性化を図りたい。千葉と神奈川県のニーズが一致したこと、古くからの南関東ブロックでの交流が下地となり実現に至った。</p> <p>●第1回環富士山スキー技術選手権大会開催 2002.3.9～10 富士山を囲む4県(山梨、静岡、千葉、神奈川)でスキー技術を磨こうと企画立案したもので、当時画期的といわれた事業だった。</p>  | <p>4.26 小泉内閣発足、外相は田中真紀子</p> <p>6.9 大阪で小学校児童殺傷事件 8人死亡</p> <p>9.11 米で同時多発テロ、貿易センタービルに旅客機衝突</p> <p>2.9 ソルトレイク冬季オリンピック開幕</p> |
| <p>2002年度(平成14年度)</p> <p>●スノーボード委員会が発足 2002. これまで、教育・競技両本部に分散していたスノーボード専門員をスノーボード委員会として統合し、独立した委員会にした。</p> <p>●第1回チャレンジカップ3戦を車山・岩岳スキー場で開催。 2002.12～2003.4 競技会をオープン化して、競技会参加者のすそ野を広げる狙いから、これまでのチャンピオンシップとは別に、より広い参加者を募る形式のチャレンジカップをシーズンの初めと真ん中と最後に開催し、総合優勝も争えるシリーズ戦とした。</p>  | <p>6.30 サッカーW杯、ブラジル5回目の優勝</p> <p>2.1 米スペースシャトル「コロンビア」着陸寸前に空中分解、7人死亡</p> <p>3.20 米英軍によるイラク攻撃開始</p> |
| <p>2003年度(平成15年度)</p> <p>●活性化委員会による検討を開始 2003.4.22 前年10月に理事会で提案された「低迷するスキー界を活性化するための普及プロジェクト」を具現化するもので、理事会からの諮問事項は「低迷するスキー界にあって、潜在的なスキーヤーの掘り起こしを行う」「SAKの組織に新風を吹き込み、各事業を活性化する」の2つ。委員長には、竹腰誠教育専門委員が選出され、以降5回の委員会で検討の結果6月30日に「スノースポーツの活性化について」と題して、ジュニア、マスターズ世代、女性、教育・競技本部、活性化検討の継続に関する提案を含んだ答申がなされた。</p> | <p>4.9 イラクの首都バグダッド陥落</p> <p>1.13 鳥インフルエンザ、山口養鶏場全鶏処分</p> <p>2.11 BSEの影響で吉野家牛井休止</p> |
| <p>2004年度(平成16年度)</p> <p>●「冬ソナ」で人気の韓国ドラゴンバレースキー場で海外スキーツアー第2段を実施。 2005.2.3～6</p>  | <p>5.22 小泉首相訪朝、拉致被害者家族5人が帰国</p> <p>7.3 ウィンブルドン選手権でシャラポワ初優勝</p> <p>8.14 アテネオリンピック開幕</p> <p>10.2 イチロー史上最多259安打</p> <p>10.23 新潟県中越地震</p> |
| <p>2005年(平成17年度)</p> <p>●普及振興委員会発足 2005.7.28 2003年の活性化委員会答申に従い、「普及振興事業の参加募集ルート開拓」と「ジュニア事業の企画運営」を目的として、学校職員や市役所職員を中心としたメンバーが選出され、青木文明氏が委員長に選出され、早速翌年3月25～27日に「ジュニア雪とのふれあいツアー」を企画、75名の参加者を得て実施された。</p> <p>●SAKだより発刊第50号記念 創刊者中村孝元理事にインタビュー。</p>  | <p>4.25 JR福知山線脱線、死者107人</p> <p>8.16 宮城沖地震</p> <p>9.11 小泉首相の郵政解散による衆議院選挙で、自民党大勝「小泉劇場」</p> <p>2.23 トリノ冬季オリンピックで荒川静香、フィギアスケート日本人初金メダル</p> <p>3.21 WBCで王ジャパン世界一</p> |
| <p>2006年度(平成18年度)</p> <p>●全国初!準指検定に単位制導入</p> <p>●会員数が6000人を割り込み、準指検定受検者160人以下で財政圧迫。</p> | <p>9.6 秋篠宮妃紀子様、男児ご出産</p> <p>3.27 北島康介、世界水泳200m平で金</p> |

| 神奈川県スキー連盟の出来事 | このころの出来事 |
|---|--|
| <p>2007年度(平成19年度)</p> <p>●競技本部、いじめ、環境問題に取り組む。</p> <p>●木田江里乃選手、長野国体アルペン5位入賞。</p> | <p>5.20 石川遼15歳で世界最年少V</p> <p>8.1 朝青龍サッカー問題で2場所出場停止</p> |
| <p>2008年度(平成20年度)</p> <p>●新潟国体で、ノルディック田村真理選手、3位入賞!女子ノルディックで初の表彰台。アルペンの木田江里乃選手は昨年に続き4位入賞を果たす。皇后杯7位。</p> <p>●競技本部は、ジュニアを対象とした一貫指導体制・サポート体制構築に向けて取り組む。「神奈川県ジュニアアルペンスキー 一貫指導マニュアル」を発行</p> <p>●競技本部は、4大会からスーパーGを廃止して3大会に。会場を上越国際から鹿沢へ変更した。</p>  | <p>北京オリンピック</p> <p>9.15 リーマンブラザース破たん 世界恐慌</p> |
| <p>2009年度(平成21年度)</p> <p>●創立70周年記念事業が催される 2009.10 県スキー連盟創立70周年記念式典及び祝賀会が、10月3日横浜ベイシェラトン&タワーズで開催された。</p> <p>協賛会員への感謝の会と優秀選手・功労者表彰の式典がそれぞれの会場で行われた後、祝賀会が開催された。</p> <p>祝賀会は、河野会長のビデオレターによるあいさつ、伊藤義郎SAJ会長の祝辞などに続いて、片専務理事から連盟のこの10年間の歩みの報告があった。続いて、河野太郎新会長からは、アメリカ留学時代におけるノルディックスキーの経験などを織り込みながら、就任のあいさつがあった。4つのスキー場から届いた地酒の鏡開きの後は、直前に行われた式典の映像と表彰者の紹介、また、映像や音楽をふんだんに取り入れたこれまでにない手法による県連10年史の紹介、プロ歌手(Hanna)による歌唱などがあり楽しい時間が流れて行った。</p>   | <p>8.30 衆議院選挙で民主党が圧勝。政権交代となる。</p> <p>9.16 鳩山内閣発足</p> |

おわりに

幾多の困難を乗り越え、(財)神奈川県スキー連盟の発足(昭和14年)に携わった先輩諸兄に敬意を表し、その精神「スノースポーツは楽しい」をもう一度噛み締め、更なる「歩み」の歩を進めようではありませんか。70周年おめでとうございます!!

新たな飛躍への挑戦

スキーの普及、発展のために

神奈川県スキー連盟創設70周年おめでとうございます。私もこの神奈川県スキー連盟にお世話になり、ちょうど10年が経ちました。20歳の時、スキー指導者を目指し、準指導員検定を受検したことがきっかけです。

その頃の私は、スキーの技術も知識もなく、もちろん経験もなかったために、いろいろな先生方にお世話になりながら、目標達成のためにスキーに打ち込んだことを覚えています。

その中でも特に印象に残っていることは、講習時間が終わっても熱心に指導してくださる先生方の姿と、共に目標に向かって努力していく受検者同士の繋がりの強さです。おかげで現在ではスキー指導に携わる立場になりましたが、素晴らしい指導者への憧れの気持ちと、スキーを通じて知り合った仲間への友情は今も変わりません。

先日、仕事の関係で知り合ったアーティストの方からアメリカ先住民族の古い格言を教えてくださいました。それは「この土地は先祖からの授かりものではなく、子供たちからの預かりもの」というものです。これは環境問題を考える上で非常に重要な考え方で、誰もがこの



考えを共有できればきっと未来は明るいものになる、というのがこの方の想いです。それには私も同感です。しかし、この言葉の持つ意味はそれだけではなく、私なりに咀嚼し自分の生活に当てはめて考えることでスキーへの関わり方についても大きな気付きを与えてくれました。それは先人から引き継ぐだけでは変化は生まれえないということ。デモンストレーターとして「これからの人たちのためにできること」を自分のプライオリティにしていこうと思いました。

私がスキーに夢中になったとき、そこにはその情熱を支えてくれる、クラブ、協会、そしてスキー連盟がありました。私のように雪の無い場所に生まれ育った者にはその存在の有難さが身にしみえています。スキーを始めたい、またはスキーを習いたい、それなのにその環境が無いという状況にならないよう、スキー連盟はスキー普及・発展のために存在しているのです。

それぞれの組織が今後も変わらずスキーヤーにとって懐の深い存在であり続けること、それは滑っているスキーの上でバランスを取り続けることに似ているような気がします（バランスの維持は動きを止めることではなく、動き続けることだと教わってきました）。大切なことは変化し続けること。スキーを取り巻く環境は今後一層厳しいものになっていくと思いますが、今こそ私たちの所属する組織が将来のスキーヤーからの預かりものという気持ちを持って取り組んでいくことが大切なのではないでしょうか。

最後になりましたが、このような厳しい社会情勢の中、精一杯その舵取りをされている現在の役員の皆様と、この70年にも渡る長き間、その発展のためにご尽力された方々に心より感謝を申し上げたいと思います。

私自身も常に変化を必要としています。それがスキーヤーとして、また人間としての成長なのではないかと感じているからです。幼い頃、デモンストレーターになるということは私の夢でした。そして今、私には叶えられていない夢があります。常に自分を成長させ続けてくれるスキーというスポーツへの感謝の気持ちを胸に、これからも夢に向かって挑戦し続けたいと思います。

SAJ デモンストレーター 佐藤 拓也

70周年に思う

教育本部 堀 祐樹

神奈川県スキー連盟創設70周年、心よりお祝い申し上げます。

準指受験を目指し、県連に登録してから早や、四半世紀のお付き合いとなりました。

その間にはリフト待ち30分以上が当たり前というバブル絶頂期を経験し、その後の長い不景気＝スキー界の低迷も現在目の当たりにしているところです。

さて、スキー離れが言われ始めすでに何年も経っているわけですが、理由はいったい何なのでしょう？

いろいろ考えられると思いますが、バブル景気によるスキーブームのとき、スキー場が人が人をださないため、人の流れをスムーズにするため、コースをひたすらきれいに圧雪したことにひとつの要因がありそうです。

スキーは本来持っている技術を駆使して、あらゆるシチュエーションを制覇することに喜びを見つけていたように思います。

コースが整備されることでスキーヤーのすみ分けがなくなり、カービングスキーの普及でさらにその喜びが少なくなってきたのではないのでしょうか？

研修会などでこんな会話を耳にします。「〇〇さん、ブルークはさっぱりだけど、コブは上手いよねー」とか「平らなところだとクセのある滑りをするけど、悪雪入っ

スノーボードの楽しさ

川崎スキー協会 PRIDE 益子 茜

私がスノーボードと出会ったのは約4年前。まさかここまでスノーボードにはまるとは思っていませんでした。始めて2年程度はそこそこ滑れるくらいでしたが、慣れてくるとだんだん欲が出てきて『もっと上手に滑れるようになりたい』と思うようになり、色々なスクールに入ったりして、自分の苦手な滑りを克服してきました。第三者に自分の滑りを見てもらうことや、ビデオで自分の滑りを確認することは、とても勉強になりました。また、アドバイスや注意することはメモに取っておき、その都度見直すようにしていました。

今回、準指導員検定を受験するにあたり、多くの人からアドバイスをもらいました。その甲斐あって無事に合格することが出来ました。

私は、環境にも恵まれていたと思い



たら別人になるよね」といった話を聞きます。

現在のゲレンデにはコブだらけのバーンも悪雪もすっかりなくなってしまい、個性を



(技を)発揮できる場所がほとんどなくなったような気がします。

毎年11月に立山という山岳地帯にバックカントリースキーに行っています。

そこには山用ウェアを身にまとったスキーヤー・テレマークスキーヤー・スノーボーダー等など、山小屋があふれんばかりに全国から大勢の人が集まっています。

驚くのは若い人たちの多いことです。彼ら、彼女らはどこの協会にもクラブにも所属せず、ただ純粋にスノースポーツを楽しみたいという目的だけで立山に来ています。

パウダーを滑る喜び、跳ぶ喜び、かかとか固定されないスキーを扱う喜び、そこにはたくさんさんの笑いと喜びが満ち溢れています。

ひと昔前のスキー場はきっとそんな場所だったと思います。雪の上で遊ぶ喜びを、われわれ自身がもう一度思い出し、雪を知らない若い世代に紹介していくことがこのスポーツを存続させる手段だと思っています。

神奈川県スキー連盟が100周年、200周年を迎えられるよう、みんなで知恵を出し合いながら盛り上げ、次の世代につなげていきたいですね。

ます。所属クラブには、既に検定に合格した方もいるので、その方達からアドバイスしてもらえたことは、とても大きかったと思います。検定のときも、一緒に検定会場に来てくれて、応援もしてもらいました。一人では心細かったので…。

スノーボードを楽しむためには、スノーボード好きな仲間を作ることも大切だと思います。一緒に滑るのは楽しいですし、人の滑りを見ることで勉強にもなります。

また、自分のしたい滑りを教わる良い機会にもなります。最近、色々小技も教わったので、ただゲレンデを滑走するだけではなく、楽しみながら滑るようになりました。ゲレンデの見方も変わってきました。これも、自分とは違う滑りをしている人に滑り方を教わった結果です。

自分の技術向上のために『検定を受ける』というのは良いことだと思います。自ずと練習しますし、練習の成果が出たときは喜びになり、更に技術向上したいと思うようになります。そしてスノーボードの楽しさを多くの人に知ってもらいたいと思いたくなります。

初心者の方に『スノーボード楽しい!』と言ってもらえる指導者になれるように頑張りたいと思います。

夢を叶えるために

相模女子大学中学部 川本 莉愛

私には小さい頃からの夢があります。それは「スキーのオリンピック選手」になることです！

この夢は変わりません。その為には色々なトレーニングをしなければいけないと考えています。小学生の頃は「別にトレーニングなんてイヤ」と思っていました。でも、中学生になり全国大会に出場し、自分の上にはまだ沢山の選手がいて、悔しい思いをしました。そんな思いをしない為にも、オフのトレーニングはとても大切だと分かりました。最近は学校から帰って来て、来シーズンの事を考えながら、もっと頑張ろうと毎日30分のランニングと筋トレをするように心がけています。

日常生活がすべてスキーにつながっています。

そして、もう一つ大切な事は、私をサポートしてくれる人達への感謝の気持ちだと思います。学校の友達も私の事を応援してくれます。スキーの仲間も良きライバルであり、良い友達です。スキーの技術・フィジカル・メンタル・栄養のコーチなどからも色々な事を教えてもらっています。

一番感謝しなければいけないのは、家族です。お父

さんが頑張って働いたお金でスキーの道具や合宿費などを出してもらいます。お母さんがいなければスキー場にも行けません。チューンナップの仕方も教えてもらいます。そして、小さい時から一緒にスキーをしているお姉ちゃん。なかなか勝てず「悔しいな〜」と思い、追いつきたい、勝ちたいと練習をしてきました。勿論、スキーの友達には負けたくないのですが、やっぱり一番負けて悔しいのはお姉ちゃんです。一番近くにいる目標で一番のライバルです。

私は沢山の人達に支えられてスキーをしていると思っています。だから、私の夢を叶える為には、いつも全ての事に感謝の気持ちを持つ事がとても大切だと思っています。



全国大会も夢ではない！



神奈川県スキー連盟70周年おめでとうございます。私は普段からスキー連盟にお世話になっておりますが、そんなに長い歴史があったとは思っていませんでした。

雪の無い環境の中で神奈川県はとても積極的に活動していると思います。その中でも私の知っている選手たちや役員のかたがたは、すごく積極的であり、私たち選手にとって、とてもスキーがしやすい環境です。

そして、私が中学一年、二年と全国中学校スキー大会に出場して分かったことは、私たちのような雪なし県の選手でも、雪のある地方の選手とほぼ対等に戦えるということです。だから全国レベルの大会に出場し入賞することは夢ではありません。私は雪のある地方の選手みたいな滑りで、全国レベルの大会で入賞してみ

ショーナンキッズ 皆川 大弥

たいと思います。

それにはまず、オフシーズンのトレーニングを欠かさずにやり、すべての行動がスキーにつながるようにしたいです。日々の努力の小さな積みかさねになると思いますが一歩一歩しっかりと目標に近づいて、最終的には目標よりもよい結果を残していきたいと思っています。そうすれば、その先も自然と見えてくるでしょう。

目標を達成したら、またその先を見て徐々に技術や能力を磨いていき、全日本でも活躍していけるようになりたいと思います。

神奈川県スキー連盟の歴史に負けないくらいのことをなしてあげたいです。

最後に、神奈川県スキー連盟の方々、今まで選手へのよい環境を作っていただいて本当にありがとうございます。今後もよろしくお願いします。

スキー競技を通して

相模原スキー協会 スキークラブ カメ 縄田 尊司

神奈川県スキー連盟創立70周年おめでとうございます。また、本誌への掲載、とても光栄に思います。さて、私とスキー競技（その中でも、異質なクロスカン トリー）との出会いは、社会人一年目の23歳の時でした。早いもので、18年目のシーズンとなります。

4シーズン目で初の国体出場。15シーズン目で国体入賞に手が届きました。「桃栗三年、柿八年、縄の大馬鹿十五年」と諺が出来そうです。

ここまでスキー競技と付き合ってきたのは、次の三つの幸運があったからだと考えています。

一つ目の幸運は、共に活動する仲間と、共に活動できる環境であった事です。

思いを同じくする仲間との活動は、シーズンに限らず、とても有意義なものとなります。自分の立ち位置を教えてくれ、課題を浮き彫りにしてくれるのも、仲間あってこそです。また、土日や長期休暇に活動できる環境であることは、とても重要です。

社会人としての責務を全うしつつ、スキーを続けることは、本当に大変な事です。

チェアスキーヤーとして、指導者として

小田原スキー協会 トライアルスキークラブ 井上 英年

私は、日本チェアスキー協会の普及部長としてチェアスキーの普及発展に携わる中、神奈川県スキー連盟のハンディキャップ委員会の方々に関わり、「1つのスキー」の実現という志を共に共有しながら、スキー指導の実践を行っています。健常者の頃からスキーを愛する者として、多くの人に支えられスキーを楽しんでいましたが、不慮の事故により突然車いす利用者となりました。失意と絶望の中でも、スキーへの情熱や想いが、いつも勇気づけてくれました。「もう一度、スキーがしたい」という願いを



叶えてくれたのが、車いす利用者が行うスキー【チェアスキー】でした。はじめてチェアスキーヤーとして、スキーをした時の感動は、

二つ目の幸運は、スキーが初心者であった事と、体のいじめ方を知っていた事です。

初心者は、経験者に比べ、成長する楽しみをより多く享受する事ができます。成長を実感できる期間は限られますが、それでもモチベーションを高くキープする事ができます。

一方、目標とする選手がどのような事を実践しているのか知る事も重要です。驚く事も多々ありますが、それを知るのと知らないのでは、大きな差となるでしょう。

三つ目の幸運は、良き理解者にめぐり合い、惜しみないサポートを受けられた事です。

良き指導者、良き先輩、そして良き家族。

自分の時間を削って、支援してくれる。

そんな方に出会える事は、正に幸運です。

これらの幸運と、ほんの少しの努力の継続で、地力もついてきます。

次の10年。

どのような選手となり、どのようにスキーと関わっていくのか想像もつきません。

ただ一つ、「現場に出続ける」をキーワードに、今できる事をやり続けようと思います。

15年を経過した現在でも鮮明に覚えています。その時の想いが、いまの私を突き動かしていると言っても過言ではありません。そんな中、ハンディキャップ委員会の活動及び多大なる支援のお陰でチェアスキーヤーとして、SAJ準指導員資格を得ることが出来ました。これからの私は、障害を持つ指導者として障害を持つ方々だけではなく、健常者の子供達など出来るだけ多くの指導場面に携わり、共に学びながらスキーを伝えていきたいと思っています。何故ならば、スキーとは、大自然の中で行うスポーツであり、障害を持つ者も健常者も同じ斜面を滑り、年齢や使用する道具に多少の差はあるものの、白銀の世界・大自然の中で行うスポーツであることに変わりはありません。しかも相手は自然なので、決して嘘をつきません。深雪の斜面を滑り、雪にまみれて大空を見上げる時に、人は地球に生まれた存在であり、その一部であることを気付かされます。

これからも、神奈川県スキー連盟の一員として、この素晴らしいスポーツを健常者・障害者を問わず、できるだけ多くの人達に連盟の皆さまと共に伝え広めて、次の世代へと繋げていきたいと思っています。

パトロールはカッコいい! —安全対策と事故防止がその使命—

安全対策委員会 上杉 一哲

財団法人神奈川県スキー連盟創立70周年おめでとうございます。

近年特に、正しい技術の普及、用具の性能の向上、スキー場の安全対策の推進など傷害事故防止への努力が進められていながら、スキーヤー同士や物体との衝突事故が目立ち、重大事故が発生しています。

スノースポーツは楽しい! しかし、楽しくなるためには安心・安全でなければならない。そのためには、自然の中で行なわれている過酷なスポーツであること（遊園地やテーマパークではないこと）の認識を高めていくことが必要です。我々の使命は神奈川県スキー連盟の安全対策事業に理解と協力をお願いし、スキー傷害の防止と安全対策の普及振興に寄与することです。そしてそれは、先輩達から受け継ぎ、後輩達へ引き継ぐものと考えています。

私事ですが、この安対の世界に足を入れたきっかけは、スキーをしていて何か面白いことが無いかなと考えている時に、パトロール達を見て、「カッコいい、これだ!」とひらめき、公パトを受験したことでした。その後、和田委員長を始め、いろいろな方々から指導を受け、パトロールの世界の厳しさや楽しさを学ばせていただき、その中で、何か人のお役に立てないか考えるようになり、「人を助ける、人の安全を守ることで、口で言うよりなんて大変なことだろう。」と思いました。

そんな私が、先シーズンから、SAJ技術員として活動しはじめ、SAJのテーマを確実に神奈川県のパト達や指導者、さらには全国の公パト達にそれを伝達していかなければならない、と言う使命感を感じながら、あつとい

う間にシーズンが終わってしまいました。

我々、雪なし県のパトロール（安全対策委員会）は、スキーヤーの安全対策や事故などに遭遇した場合の応急手当の方法を普及していくことを第一と考え、パトロールの養成だけではなく、一般の人や指導者の方々へも何事故が起きるのか、どうすれば事故が防げるのかを広く啓発していきたいと思えます。

近年のスキー事情は、80年代後半からスキー人口は増え続け90年代前半には約1800万人にまでなりましたが、バブルの崩壊後は不景気が大きく影響し、2004年にはピーク時の半分以下の760万人にまで減少しました。また、90年代後半に若者を中心として急激に増加していったスノーボード人口は近年では伸び悩んでおり、スキー人口とスノーボード人口をあわせても現在では約1200万人とピーク時に比べると大幅に減少しています。しかし、白銀の山野を乱舞するこのスポーツの魅力はたとえようがありません。スキーはスピードを伴い、自然環境の中でめいめいが自由に振舞う個人スポーツです。加えて、危険を避けるためにはそれなりの知識を持ち、滑走にあたっては絶えず緊張と適切な判断力が求められるという独特な性格を持っています。

最後に、ひとくちにスキーの安全といっても、そこには関係者、ボランティアを含めた多くの人の協力と援助、さらにスキーヤー全般の安全に対する高い意識が必要と言えます。パトロールやパトロールを目指す人の他、広い意味でのスノースポーツ関係者に、安全対策の重要性を理解していただけたらと思います。



歴代役員

| 年代 | 沿革 | |
|----------------|--|--|
| 平成12年 2000年 | 顧問 松浦益司郎、柳沢須佐男、押川泰夫、石川嘉吉、北田倉吉、大久保早苗、石田久夫、小林敬二、星野 豊、白石栄三、和久井民雄、山崎 勉、楓山一登、笹貫敏男、清水清則、鈴木忠昭、本田安男 参事 小島祐嘉、柴田伸彦 会长 河野洋平 副会长 片岡春夫、小林幹夫、廣瀬 稔 専務理事 山田 隆 常務理事・専務理事補佐 片 忠夫 常務理事・総務本部長 水島三千夫 常務理事・教育本部長 三塚康雄 常務理事・競技本部長 勝又敬夫 理事 越前谷芳隆、早川博基、平沢幸一、梶一成、上田英之、本田衛義、渡辺三郎、山本英雄、菊地勇二、小山正治、工藤政蔵、三井田俊彦、菊地富士夫 監事 岩崎義隆、生駒利一 所属団体数 271団体 SAJ登録会員 7343人 | |
| 平成13年 2001年 | 顧問 柳沢須佐男、押川泰夫、石川嘉吉、北田倉吉、大久保早苗、石田久夫、小林敬二、星野 豊、和久井民雄、山崎 勉、楓山一登、笹貫敏男、清水清則、鈴木忠昭、本田安男、片岡春夫 参事 小島祐嘉、柴田伸彦 会长 河野洋平 副会长 小林幹夫、廣瀬 稔、古郡敬一 専務理事 山田 隆 常務理事 片 忠夫 常務理事・総務本部長 片 忠夫 常務理事・教育本部長 三塚康雄 常務理事・競技本部長 菊地富士夫 常務理事・事務局 越前谷芳隆 理事 百海廷、野地澄雄、早川博基、平沢幸一、上田英之、本田衛義、内海雄三、柴田秀一、渡辺三郎、山本英雄、菊地勇二、木村徳善、工藤政蔵、栗田謙悟、鈴木正、本宮敏宏 監事 生駒利一、徳田盾夫 所属団体数 269団体 SAJ登録会員 7072人 | |
| 平成14年 2002年 | 顧問 柳沢須佐男、押川泰夫、石川嘉吉、北田倉吉、大久保早苗、石田久夫、小林敬二、星野 豊、和久井民雄、山崎 勉、楓山一登、笹貫敏男、清水清則、鈴木忠昭、本田安男、片岡春夫 参事 小島祐嘉、柴田伸彦 会长 河野洋平 副会长 廣瀬 稔、古郡敬一、野地澄雄 専務理事 山田 隆 常務理事 片 忠夫 常務理事・総務本部長 片 忠夫 常務理事・教育本部長 渡辺三郎 常務理事・競技本部長 菊地富士夫 常務理事・事務局 越前谷芳隆 理事 早川博基、柴田秀一、上田英之、百海廷、本田衛義、徳本進、堀祐樹、長久保巖、斎藤幸雄、岡本洋一、木村徳善、菊地勇二、清水忠、栗田謙悟、平沢幸一、本宮敏宏 監事 生駒利一、徳田盾夫 所属団体数 276団体 SAJ登録会員 6966人 | |

| 年 代 | 沿 革 | |
|----------------|--|---|
| 平成15年 2003年 | 顧問 参 会 副 会 専 務 理 事 常 務 理 事 常務理事・総務本部長 常務理事・教育本部長 常務理事・競技本部長 常務理事・事務局 理 事 監 事 所 属 団 体 数 S A J 登 録 会 員 | 柳沢須佐男、押川泰夫、石川嘉吉、大久保早苗、石田久夫、小林敬二、星野 豊、和久井民雄、山崎 勉、楓山一登、笹貫敏男、清水清則、鈴木忠昭、本田安男、片岡春夫 小島祐嘉、柴田伸彦 河野洋平 廣瀬 稔、古郡敬一、野地澄雄 山田 隆 片 忠夫 片 忠夫 渡辺三郎 菊地富士夫 越前谷芳隆 早川博基、柴田秀一、上田英之、百海廷、本田衛義、徳本進、堀祐樹、長久保巖、齋藤幸雄、岡本洋一、木村徳善、菊地勇二、清水忠、栗田謙悟、平沢幸一、本宮敏宏 生駒利一、徳田盾夫 270団体 6654人 |
| 平成16年 2004年 | 顧問 参 会 副 会 専 務 理 事 常 務 理 事 常務理事・総務本部長 常務理事・教育本部長 常務理事・競技本部長 常務理事・事務局 理 事 監 事 所 属 団 体 数 S A J 登 録 会 員 | 柳沢須佐男、押川泰夫、石川嘉吉、大久保早苗、小林敬二、星野 豊、和久井民雄、山崎 勉、楓山一登、笹貫敏男、清水清則、鈴木忠昭、本田安男、片岡春夫、廣瀬 稔 小島祐嘉、柴田伸彦 河野洋平 古郡敬一、野地澄雄、山田 隆 片 忠夫 三塚康雄 上田英之 渡辺三郎 菊地富士夫 越前谷芳隆 柴田秀一、本田衛義、徳本進、長久保巖、岡本洋一、佐々木生道、阿久津光代、清水忠、木村徳善、菊地勇二、百海廷、栗田謙悟、平沢幸一、齋藤幸雄、吉岡去私 生駒利一、木村信吉 275団体 6524人 |
| 平成17年 2005年 | 顧問 参 会 副 会 専 務 理 事 常 務 理 事 常務理事・総務本部長 常務理事・教育本部長 常務理事・競技本部長 常務理事・事務局 理 事 監 事 所 属 団 体 数 S A J 登 録 会 員 | 押川泰夫、石川嘉吉、大久保早苗、小林敬二、星野 豊、和久井民雄、山崎 勉、楓山一登、笹貫敏男、清水清則、鈴木忠昭、本田安男、片岡春夫、小林幹夫、廣瀬 稔 小島祐嘉、柴田伸彦 柳沢尚武 河野洋平 古郡敬一、野地澄雄、山田 隆 片 忠夫 三塚康雄 上田英之 渡辺三郎 菊地富士夫 越前谷芳隆 柴田秀一、本田衛義、徳本進、長久保巖、岡本洋一、佐々木生道、阿久津光代、清水忠、木村徳善、菊地勇二、百海廷、栗田謙悟、平沢幸一、齋藤幸雄、吉岡去私 生駒利一、木村信吉 271団体 6392人 |

| 年 代 | 沿 革 | |
|----------------|--|---|
| 平成18年 2006年 | 顧問 参 会 副 会 専 務 理 事 常 務 理 事 常務理事・総務本部長 常務理事・教育本部長 常務理事・競技本部長 理 事 監 事 所 属 団 体 数 S A J 登 録 会 員 | 押川泰夫、石川嘉吉、大久保早苗、星野 豊、和久井民雄、山崎 勉、楓山一登、笹貫敏男、清水清則、鈴木忠昭、本田安男、片岡春夫、小林幹夫、廣瀬 稔、古郡敬一 小島祐嘉、柴田伸彦 柳沢尚武 河野洋平 野地澄雄、山田 隆、八尾 勉 片 忠夫 三塚康雄 上田英之 木村徳善 菊地富士夫 徳本進、川田光代、吉野大成、藤田浩介、荻野恭宏、金子理人、国島みどり、清水忠、百海廷、岡本洋一、森本珠水、平沢幸一、齋藤幸雄、吉岡去私、平賀淳夫、小池光 木村信吉、内海雄三 272団体 6264人 |
| 平成19年 2007年 | 顧問 参 会 副 会 専 務 理 事 常 務 理 事 常務理事・総務本部長 常務理事・教育本部長 常務理事・競技本部長 理 事 監 事 所 属 団 体 数 S A J 登 録 会 員 | 押川泰夫、石川嘉吉、大久保早苗、星野 豊、和久井民雄、山崎 勉、楓山一登、笹貫敏男、清水清則、鈴木忠昭、本田安男、片岡春夫、小林幹夫、廣瀬 稔、古郡敬一 小島祐嘉、柴田伸彦 柳沢尚武 河野洋平 野地澄雄、山田 隆、八尾 勉 片 忠夫 三塚康雄 上田英之 木村徳善 菊地富士夫 徳本進、川田光代、吉野大成、藤田浩介、荻野恭宏、金子理人、国島みどり、清水忠、百海廷、岡本洋一、森本珠水、平沢幸一、齋藤幸雄、吉岡去私、平賀淳夫、小池光 木村信吉、内海雄三 267団体 6063人 |
| 平成20年 2008年 | 顧問 参 会 副 会 専 務 理 事 常 務 理 事 常務理事・総務本部長 常務理事・教育本部長 常務理事・競技本部長 理 事 監 事 所 属 団 体 数 S A J 登 録 会 員 | 石川嘉吉、大久保早苗、星野 豊、和久井民雄、山崎 勉、楓山一登、笹貫敏男、清水清則、鈴木忠昭、本田安男、片岡春夫、小林幹夫、廣瀬 稔、古郡敬一 小島祐嘉、柴田伸彦 柳沢尚武 河野洋平 野地澄雄、山田 隆、佐藤嘉彦 片 忠夫 三塚康雄 上田英之 木村徳善 菊地富士夫 徳本進、吉野大成、荻野恭宏、金子理人、国島みどり、安藤努、岡本洋一、清水忠、百海廷、小池光、岡田良平、齋藤幸雄、吉岡去私、平賀淳夫、大澤康之 木村信吉、内海雄三 264団体 5809人 |

| 年代 | 沿革 |
|----------------|---|
| 平成21年 2009年 | <p>顧問 石川嘉吉、星野 豊、和久井民雄、山崎 勉、楓山一登、清水清則、鈴木忠昭、本田安男、片岡春夫、小林幹夫、古郡敬一</p> <p>参 与 小島祐嘉、柴田伸彦</p> <p>顧問 柳沢尚武</p> <p>会 長 河野洋平</p> <p>副 会 長 野地澄雄、山田 隆、佐藤嘉彦</p> <p>専 務 理 事 片 忠夫</p> <p>常 務 理 事 三塚康雄</p> <p>常務理事・総務本部長 上田英之</p> <p>常務理事・教育本部長 木村徳善</p> <p>常務理事・競技本部長 菊地富士夫</p> <p>理 事 徳本進、吉野大成、荻野恭宏、金子理人、国島みどり、安藤努、岡本洋一、清水忠、百海廷、、小池光、岡田良平、齋藤幸雄、吉岡去私、平賀淳夫、大澤康之</p> <p>監 事 木村信吉、内海雄三</p> <p>所 属 団 体 数 2 6 6 団 体</p> <p>S A J 登 録 会 員 5 6 5 9 人</p> |

加盟団体紹介

| 協会名 | 横浜スキー協会 | 創立年月日 | 1948年6月 |
|--|---------|-------|---------|
| 会 長 | 三井 博 | 理事長 | 神谷 明宏 |
| 活動概要 | | | |
| 協会加盟団体数では101団体とピーク時の平成12年度の水準を維持しているものの、スキーヤーの高齢化と共に、登録会員数も2,100名を割り込み、ピーク時を2割も下回ってきています。当協会は昨年度創立60周年を祝しましたが、今年を新たな出発点とし、多様化しているスノースポーツへの対応と共に、ジュニア育成を核とする底辺拡大と、生涯スポーツとしてのスノースポーツの普及発展に引き続き取り組んでまいります。キーワードは「スキーで広げよう。楽しい仲間たち」です。 | | | |

| 協会名 | 川崎スキー協会 | 創立年月日 | 1935年 |
|---|---------|-------|-------|
| 会 長 | 片 忠夫 | 理事長 | 八尾 勉 |
| 活動概要 | | | |
| 川崎スキー協会は、「会員及び市民のスノースポーツ振興を図り、合わせて相互の親睦を図る」を一貫した基本方針として活動しています。2009年、登録団体は43、登録会員数は985人です。また、SAKと同じく創立70周年を迎え記念行事を開催しました。将来もスキーができる環境を皆でともに維持していきたいと考え、地球温暖化防止に賛同し、各行事で『my 箸』を配布しました。全体的に減少傾向にありますが、蔵王で行うスノーフェアは参加者が増えています。 | | | |
| 6月 協会理事総会 | | | |
| 11月 スノーフェア（スキー映画、抽選会など） | | | |
| 1月 川崎市民スキーフェスティバル（蔵王温泉 五感の湯 つるや）150名 レーシングキャンプ（尾瀬岩鞍） | | | |
| 2月 川崎市市民スキー大会・クラブ対抗スキー大会（2009年度から木島平に変更） 準指導員受験者直前合宿（車山） | | | |
| 3月 川崎市民春のファミリースキー（志賀高原） | | | |
| 5月 オフ交流会（指導員合格者や競技参加者など幅広く交流の輪を拡大） | | | |

| 協会名 | 小田原スキー協会 | 創立年月日 | 1961年10月1日 |
|--|----------|-------|------------|
| 会 長 | 鈴木 忠昭 | 理事長 | 市川 房雄 |
| 活動概要 | | | |
| 現在、所属10クラブ会員総数315名で小田原市を中心に近隣の市町村、東京他幅広い地域の方々も多数所属している協会です。2年後（平成23年）に創立50周年を迎えます。 | | | |
| 常任理事20名でシーズン前のスキーフェスティバルから始まり雪上での基礎行事、競技行事を運営しています。 | | | |
| スキーフェスティバルは会員一般スキーヤーのシーズン前の交流を目的に各種スポーツ、フリーマーケット、抽選会等を行っています。今シーズンはスキー普及発展のために、一般の方々も更に参加しやすい行事に変えて行こうと計画を練っているところです。 | | | |
| 基礎行事は正月と春休みに2泊3日の行事と2月に日帰り行事を行っています。正月は雪の多い志賀高原スキー場で若者から親子連れまで幅広い参加者と共に毎年年越しでスキーを楽しんでいます。春休みは近距離にある車山高原スキー場で小中学生を中心に一般の方々まで参加し、シーズン後半のスキーを楽しんでいます。日帰りはカムイみさかスキー場で小中学生を対象に初めてスキーをする子供達から経験豊富な子供達まで多数参加を得ている人気の行事として定着しています。 | | | |
| 競技行事は、いいづなりリゾートスキー場で1月に土日開催のポール教室、2月に小田原スキー選手権を開催しています。ポール教室には県でもトップクラスの方から子供達まで参加し、スキー技術を磨いています。小田原スキー選手権は前日の練習会で調子を上げ、翌日はトップを目指し、選手たちが競い合っています。 | | | |
| 所属各クラブでもこれ以外に雪上13行事を毎年開催し頑張っています。 | | | |

| | | | |
|--|----------|-------|-----------|
| 協会名 | 横須賀スキー協会 | 創立年月日 | 1948年5月1日 |
| 会長 | 内海 雄三 | 理事長 | 守谷 紀幸 |
| 活動概要 横須賀スキー協会は、市の委託事業として、ジュニアを対象とした冬休み・春休みスキー教室を白馬岩岳スキー場等で開催しています。また、2月初めに同じ白馬岩岳スキー場で行われている、市民体育大会スキー・スノーボード競技会は、同一会場で40回を超える開催を続けており、蔵王温泉スキー場を会場とした1月中旬の市民スキーの会は、なんと58回の開催回数を誇る伝統ある行事となっています。また、昨年度創立60周年を迎えたことを記念して2月中旬に短期のジュニア行事を新設し、スキーだけでなくスノーボードも視野にいたした事業展開を目標んでいます。このように、伝統ある事業と新しい感覚が一体となった横須賀スキー協会ですので、皆さん、よろしくお祈いします。 | | | |

| | | | |
|---|-----------|-------|------------|
| 協会名 | 相模原市スキー協会 | 創立年月日 | 1954年9月22日 |
| 会長 | 三塚 康雄 | 理事長 | 門倉 直行 |
| 活動概要 私たち相模原市スキー協会は創立55周年を迎えることができました。参加数22クラブが一つのクラブのようにまとめ、毎年多くの事業を開催しています。ホームゲレンデを長野県戸隠高原スキー場とし、年末年始合同合宿、相模原市技術選手権大会、市民選手権大会（アルペン・ノルディック）、クラブ対抗スキー大会（アルペン・ノルディック）といった事業を中心に、市民スキー講習会（相模原市主催）の現場運営及び講師派遣、市民スキースクールの開催（協会主催）、また、親子・Jrスキースクール、スポーツ少年団スキースクール等の普及活動も行っています。また、日帰りスキーツアーではアルペンスキーだけでなく、歩くスキー（ノルディック）も取り入れ、スキーのジャンルを超えた幅広いスキー仲間と楽しみ、参加していただいたみなさまから好評をいただいています。運営側の役員、顧問・参与、相模原市指導員会はもちろん、各クラブ員一人一人がスキーというスポーツをこよなく愛し、私たち相模原市スキー協会のより良い発展と、活性化を願い、今後も活動し続けていきたいと思ひます。 | | | |

| | | | |
|---|----------|-------|---------|
| 協会名 | 茅ヶ崎スキー協会 | 創立年月日 | 1949年1月 |
| 会長 | 榎本 勝雄 | 理事長 | 酒井 祐一郎 |
| 活動概要 1. 茅ヶ崎市民スクール 2. 技術講習会（講師：ナショナルデモ） 3. アルペン種目練習会（回転、大回転） 4. 茅ヶ崎市総合体育大会（兼県総合体育大会選考会） 5. 理事会開催（年4回） 地球温暖化や雪不足が心配されていますが、このような時こそ、会員相互の親睦をより一層図り、スキー愛好家の団体を目指して活動していきます。（財）神奈川県スキー連盟の皆様のご支援をいただき、スノースポーツの発展に努力を重ねてまいりますのでどうぞよろしくお祈い申し上げます。 | | | |

| | | | |
|---|---------|-------|------------|
| 協会名 | 藤沢スキー協会 | 創立年月日 | 1959年12月1日 |
| 会長 | 佐藤 嘉彦 | 理事長 | 大塚 一 |
| 活動概要 当協会にはスキー連盟公認指導員が135名、また国体選手やスノーボードの著名な選手が在籍しています。各クラブそれぞれの特長を生かした活動が行われており、スキー教室を中心としたクラブ、指導者育成を目指すクラブ、競技会での好成績を狙うクラブ、スノーボード中心のクラブなど様々であり、それぞれが活躍しています。現在『藤沢ウインターフェスティバル』という雪上行事を志賀高原焼額山で行っています。市民選手権大会（藤沢市民総合体育大会スキー競技会）は勿論、ポールレッスン、スキー教室・スノーボード教室・各々のパッチテスト、指導者養成合宿、スノーシューによる雪山散策、テレマークスキー体験など複数行事が同時進行で盛大に行われ、夜のパーティも華やかに行っております。この『藤沢ウインターフェスティバル』は新しいスノースポーツ行事のあり方を模索した行事であり、市民に根ざす、スキー協会の典型的な行事でもあります。本年度、当協会が50周年を迎えるにあたり、更なる進化発展を目指しております。 | | | |

| | | | |
|--|---------|-------|-------|
| 協会名 | 平塚スキー協会 | 創立年月日 | 1955年 |
| 会長 | 勝又 敬夫 | 理事長 | 渡辺 一敏 |
| 活動概要 神奈川県スキー連盟創立70周年おめでとございます。平塚スキー協会は昭和30年に創設され、今年で54年に至ります。昭和45年～50年の全盛期の時は所属団体も12ありましたが、スキー人口の減少とともに、現在、7団体の協会です。協会活動としまして、ソフトボール大会、平塚スキー選手権大会、平塚市民スキー講習会、強化合宿などの開催、神奈川県総合体育大会への参加ですが、各クラブにおいて基礎スキー、競技スキーにおいてSAKの強化選手が活躍しています。教育本部B指定選手：佐藤拓也、C指定選手：高石哲、前川悠、二階堂彩子、スノーボード・アルペン：渡部亮です。平塚スキー協会は、平塚市体育協会主催のスポーツ指導講習会に参加し、スノースポーツの普及・発展に努めています。 | | | |

| | | | |
|---|---------|-------|------------|
| 協会名 | 鎌倉スキー協会 | 創立年月日 | 1962年11月1日 |
| 会長 | 加藤 国夫 | 理事長 | 岡田 幸一 |
| 活動概要 鎌倉スキー協会はスキーの健全なる普及発展、及び会員相互の親睦を図ることを目的としており、現在は、11の所属団体で構成され、159名がSAJ登録をしています。協会行事としては、準指、正指受験者対象としたレベルアップ講習会を12月にアサマ2000で、競技力向上を目的とした鎌倉市民スキー大会を各スキークラブ対抗も兼ね1月に木島平で、市民等を対象とした普及行事として2月に「鎌倉湯ったりスキー」（志賀高原）、3月に「歩くクロスカントリースキーの集い」（日光光徳牧場）、4月に「さよならスキー」（志賀高原）を開催するとともに、県総体冬季大会への選手派遣を体協から受託しています。また、オフシーズンには親睦行事として、ゴルフコンペを6月、10月に、テニス大会を各スキークラブ対抗で9月に開催しています。年間を通して、スキーの普及、競技力の向上、会員の親睦を目的に活動しています。 | | | |

| | | | |
|--|---------|-------|---------|
| 協会名 | 逗子スキー協会 | 創立年月日 | 1960年1月 |
| 会 長 | 松永 繁之 | 理事長 | — |
| 活動概要 逗子市を代表する団体として、市民等のスキー活動の普及、振興及び向上を図るため、関係団体相互の連絡調整及び親睦を図っている。SAK及び逗子市体育協会の行事参加と指導者の派遣等によるスノースポーツのサポートを実施している。 | | | |

| | | | |
|--|----------|-------|-------|
| 協会名 | 大和市スキー協会 | 創立年月日 | 1963年 |
| 会 長 | 坂井 登 | 理事長 | 高嶋 孝幸 |
| 活動概要 本協会は、登録クラブ数4団体、登録者107人の小規模な協会ですが、正月のスキースクール、2月には市民選手権・クラブ対抗の競技大会、3月には雪上ハイクの歩くスキー、春休みには小中学生を対象としたジュニアスキー教室を行うなど、活発な活動をしています。3年後には創立50周年を迎えることとなりますが、今後とも神奈川県スキー連盟の一員として、スノースポーツの普及振興に微力ながら全力を尽くしたいと思います。 | | | |

| | | | |
|---|---------|-------|----------|
| 協会名 | 足柄スキー協会 | 創立年月日 | 1965年11月 |
| 会 長 | 窪田 篤 | 理事長 | 岡田 武司 |
| 活動概要 当協会は、毎年、シーズン前の記念イベントとして、スキー映画の上映と各スキー場及びスキー関連企業の協賛による抽選会を開催しております。本年も11月に開催する予定です。 当協会の所属団体は次の4団体で、シーズン中の活躍を期待しています。 ①あしがらゆきクラブ、②テルモ湘南センタースキー部、③E. F. Sスキークラブ、④足柄スノーボードクラブ | | | |

| | | | |
|---|-----------|-------|------------|
| 協会名 | 秦野市スキー協会 | 創立年月日 | 1971年10月1日 |
| 会 長 | 副会長 川崎 信一 | 理事長 | 幡野 浩志 |
| 活動概要 秦野市スキー協会は昭和46年創立の協会です。現在、3団体、124名が会員登録しています。協会では、会員のスキー技術、競技技術の向上や会員相互の親睦、小中学生を中心に市民への普及活動を展開しています。 シーズン・オフは、会員親睦バーベキューを開催し、市民の日にはスキーリサイクル・ショップ（個店）を出店しています。また、その収益金は市民参加の行事に還元しています。 シーズン中は、スキー技術の普及を目的とした正月スキー、競技技術向上を目指したポルトレーニング、県総合体育大会冬季大会スキー競技会の選手選考会を兼ねた秦野市スキー選手権大会を開催しています。また、小中学生を対象に日帰りスキーツアーと2泊3日の春休みスキーツアーを開催し、子供たちにスキーの楽しさを伝えています。 また、先シーズンは、国体出場を果たした槻橋正峰選手がアルペン競技で16位と、雪なし県の選手としては大変立派な成績を取っています。 詳細は事務局、山田陶器店（本町四ツ角、0463-81-0469）までお問い合わせください。また、協会ではホームページも立ち上げています。ぜひ一度、お立ち寄りください。 http://members3.jcom.home.ne.jp/sah2008/ | | | |

| | | | |
|--|----------|-------|------------|
| 協会名 | 座間市スキー協会 | 創立年月日 | 1975年12月1日 |
| 会 長 | 星野 豊 | 理事長 | 北川 松男 |
| 活動概要 ザマ・スノーフェスティバル 11月に開催 座間市民スキー大会（スノーチャレンジ）1月予定（パルコール婦恋スキーリゾート） | | | |

| | | | |
|--|-----------|-------|------------|
| 協会名 | 伊勢原市スキー協会 | 創立年月日 | 1977年1月10日 |
| 会 長 | 椿原 政好 | 理事長 | 深渡 剛 |
| 活動概要 伊勢原市スキー協会は、5クラブ、会員数約120名、指導者登録数約50名という規模で活動をしています。活動内容としては、各クラブそれぞれの行事の他、特に伊勢原市民のための、 ①親子スキー教室（日帰り） ②市民スキー教室（1泊 赤倉温泉スキー場） また、伊勢原市体育協会からの委託として ③市民スキー選手権大会開催 を行っています。 | | | |

| | | | |
|---|----------|-------|---------|
| 協会名 | 厚木市スキー協会 | 創立年月日 | 1979年6月 |
| 会 長 | 井上 敏郎 | 理事長 | 森谷 博幸 |
| 活動概要 厚木市スキー協会は「スキーを愛好する多くの市民の健全な心身の育成と、スキーの普及を図る」ことをスローガンに約300名の協会員で30年間活動を進めています。 年間の行事は、11月に「米沢牛の芋煮会」で親睦を図ってシーズンの活動に入ります。 普及活動は、市民スキー選手権大会、市民スキー教室、ステップアップ講習会等で市民を対象にジュニアからシニア層まで幅広い年齢層に対応した活動を行っています。 競技スキーでも県総体の上位を目指してオフトレ・強化合宿など選手の育成強化を行っています。 厚木市スキー協会は小さな団体ですが、会長・理事長を核に役員の手続きで「明るく楽しく」運営を実施しています。 | | | |

| | | | |
|--|----------|-------|-------|
| 協会名 | 南足柄スキー協会 | 創立年月日 | — |
| 会 長 | 河越 明彦 | 理事長 | 小澤 順治 |
| 活動概要 残念ながら、南足柄スキー協会のご意向で活動概要は掲載いたしません。 | | | |

| 協会名 | 愛川町スキー協会 | 創立年月日 | 1984年11月14日 |
|-------------|-----------------------|-------|-------------|
| 会 長 | 川岸 保貴 | 理事長 | 吉岡 去私 |
| 活動概要 | | | |
| 1月 | 町民スキー教室（友好都市 長野県立科町） | | |
| 2月 | バッチテスト（級別） 白樺高原国際スキー場 | | |
| 3月 | スキー教室（栂池高原スキー場） | | |
| 7月 | バーベキュー大会 | | |
| 毎月 | 役員会 | | |

| 協会名 | 綾瀬市スキー協会 | 創立年月日 | 1982年7月1日 |
|--|----------|-------|-----------|
| 会 長 | 石渡 善司 | 理事長 | 波多野 好 |
| 活動概要 | | | |
| スキーを通じ、市民の体位向上、正しいスキー技術の習得、普及発展及び親睦を図ることを目的に以下の活動を行っている。 | | | |
| ・役員会 理事会（毎月1回） 総会（年1回） | | | |
| ・行 事 スキー合宿（車山）、市民スキー教室（志賀）、市民スキー競技大会（五竜）、指導員養成講習会（五竜）、夏季行事（登山） | | | |
| ・その他 県総合体育大会冬季大会への参加、県連の各種行事に参加し、県連各協会と親睦・交流を図っている。 | | | |

| 協会名 | 葉山町スキー協会 | 創立年月日 | 1998年 |
|--|----------|-------|-------|
| 会 長 | 高木 康之 | 理事長 | 大塚 隆 |
| 活動概要 | | | |
| 現在はモンテマールとフェルトミュッツェの2クラブで構成されています。主にスキー・スノーボードの有資格者を育て、技術選や競技にもメンバーを派遣、また、春休みを利用して葉山の子供たちにスノースポーツに触れてもらう機会として、葉山ジュニアスキースノーボードスクールを毎年開催しています。所属のメンバーの年齢層は幅広く、中学生から70代まで在籍、どの世代にも楽しんでもらえる環境を夏冬通じて考えております。海沿いの町、葉山ならではの行事として真夏に行う協会主催のバーベキュー大会には他協会からの参加も多く好評をいただいております。「趣味は自らポジティブに」を合言葉にこれからも雪上でも海岸でもスキー・スノーボードを通じて多くの人々との楽しい出会いを求めて、さらに葉山はパワーアップします。小さな協会ですが今後とも協会員一同よろしく願い申し上げます。 | | | |

指導員合格者

| 年 度 | 合 格 者 |
|----------------|---|
| 平成12年 2000年 | 第1会場（朝里川温泉スキー場） 梅津仁、内海雄三、稲葉茂代、高山博重、山下てるみ、榎 正一、寺川健吾、渡邊誠、叶内秀幸、廣瀬勇司、川口 隆、今泉 俊一、籠橋 巧、嘉代 雄、細田典子、杉崎裕一、望月章世、草弼夕美、梅澤秋久、山本和香 第2会場（網張温泉スキー場） 梶川要一 第3会場（岩岳スキー場） 大内健司、安西康泰、松井 丈、松田 豊、打木新一、井原隆寛、諸角 晃、飯嶋俊彦、永吉雪絵、谷川聡郎、翠川和也、神山良平 第4会場（鷲ヶ岳スキー場） 森谷博幸、和田 均、望月光弘、杉本和也、隅 秀敏、伊藤孝英、中西 元、依田知子、武井健二、菅原有介 |
| 平成13年 2001年 | 第1会場（朝里川温泉スキー場） 東田一三、杉山 章、伊藤善美、石川博英、松岡 功、国島みどり、吉浜宏樹、鈴木 学、安藤雅子、石川恭代、難波秀行、清水聡司、落合章則、石橋 学、岩山 茂、寺岡 穰、国島 豊、澤野義昭、本庄巨人、村田一志、窪田俊彦、宮城 修、赤城 健、秋山隆司、小谷栄治、鈴木勝治、石橋弥生、大山一浩、三浦亜矢子、熊倉 晋 第2会場（宮城蔵王スキー場） 藤邨秀明、山川純逸、今泉嘉文、萩原裕史 第3会場（尾瀬岩鞍スキー場） 高山 均、中田 修、大雲芳樹、高山智仁、松本正雄、佐藤新二郎、高橋 靖、小山欣紹、小田岳夫、中野浩司、渡辺宏行、石井淳也 第4会場（九頭竜スキー場） 山蔭敬三、藤村和弘、平井 純、山下 亮 |
| 平成14年 2002年 | 第1会場（朝里川温泉スキー場） 小林 学、野村 満、西山やえ子、河田清志、鈴木雅樹、深澤祐一、薩川正春、坂岸義雄、大鷹丸 正人、田中洋一、三友正夫、小川規恵、鎮目 聡、山本 智、若山昌弘、河野千尋、和田香奈子、庄野雄二、石川秀明、二階堂裕文、岡崎彦哉、大場浩幸、稲田文雄、中平忠克、浜田忠男、室井正美、成沢恵美子、伊藤直子、土屋靖子、青木幸子、細野千穂子、瀧本淳志 第3会場（湯沢高原スキー場） 太田 豊、高橋功一、高橋大介、高橋裕武、宮代勝道、三枝郁夫 第4会場（金沢セイモアスキー場） 土屋直樹、藤田賢一 |
| 平成15年 2003年 | 第1会場（朝里川温泉スキー場） 石津光一、市川義昭、小野寺満憲、早川三弘、浅野正樹、鮎川高広、井田美奈子、井東 昭、井上伸裕、江口 潤、沖村芳仁、風間 猛、片瀬文雄、木瀬祥一郎、今野 忠、佐藤公一、佐藤賢司、柴山 順、正田恵寿、鈴木 浩、長谷川健次、見竹康弘、山崎智一、山田真佐志、山中 涉 第2会場（あだたら高原スキー場） 小澤順治、丸山裕美 第3会場（菅平高原スキー場） 醍醐浩美、磯尾乃理、鈴木敬太、種田直孝、遠藤さつき、西村 泉、角田直彦、三矢 正、黒沼亜美、興名本 崇、三原 博、小林 貴、宮下清貴、佐藤拓也、中根健生 |
| 平成16年 2004年 | 第1会場（朝里川温泉スキー場） 丸山京子、山本 学、五十嵐公一、奥山 覚、河辺邦彦、黒川 誠、栄居正樹、佐々木信利、塩谷将彦、柴山寿治、鈴木和裕、隅 穂積、高橋 豊、初森 進、林 哲也、半沢裕司、村上正敏、吉田俊史、若松康之 第3会場（尾瀬岩鞍スキー場） 榎本品子、遠藤良一、海藤寿恵、楠本二三典、佐々木栄悦、佐々木恵無、鈴木徹哉、高木康之、武井智栄、前田徹浩 |

| 年 度 | 合 格 者 |
|----------------|---|
| 平成17年 2005年 | 第1会場（朝里川温泉スキー場） <div>川原昭彦、丹下達雄、市川 栄、古谷省吾、上杉一哲、大久保 理、木下孝広、関口久夫、竹村健二、田村昌重、土井義浩、堀江政明、宮本 篤</div> 第2会場（田沢湖スキー場） <div>鈴木しゅう子</div> 第3会場（新赤倉スキー場） <div>瀬田貴之、橋本秀直、武田竜子、小高富美忠、高松利郎、東郷仁麿、幸松 令、一柳篤史、五藤知恵、高橋輝往、武井哲子、武井琢磨、中島真文、橋本 走、矢代直也</div> 第4会場（セイモアスキー場） <div>渡久山 大</div> |
| 平成18年 2006年 | 第1会場（朝里川温泉スキー場） <div>東 香織、羽石則子、松本和徳、水附謙太郎、山本 亘、小池資治、杉山 明、長沼 猛、渋谷正樹、竹内雅二、濱田義之、中村浩人、矢後忠男、横山幸代、和田 貢、中島康裕、吉田拓未、依田真由美、奈良 浩、牧野 雄、松橋康栄</div> 第2会場（網張温泉スキー場） <div>及川 晋</div> 第3会場（野沢温泉スキー場） <div>根岸 誠、室谷信晃、山川正一、野原 亨、岩井淳行、鈴木健一郎、矢吹耕輔、湯川元文、杉山 真、藤本晋也、石崎慎一、長田 亨、勝間田浩一、鯨井美樹、今野真智、島村陽一、志村 僚、鈴木良平、高島亜也子、前田玲子、松田、孝、三品昌彦、三森朋宏、吉岡去私</div> |
| 平成19年 2007年 | 第1会場（朝里川温泉スキー場） <div>押川哲也、水谷 亨、中野眞男、栗原啓治、糞田浩道、萩原明東、黒川正孝、笹野邦彦、濱崎一央、新堀奈穂子、田邊洋一、見供正章、杉山千鶴、富川貴幸、羽深嘉宣、中浦陽子</div> 第2会場（オニコウベスキー場） <div>杉村光晴</div> 第3会場（尾瀬岩鞍スキー場） <div>佐藤諒一、秋山亜紀、石田兼丈、水野 祐、緑川則子、井上真樹、坂本佳彦、山本 忠、漆原宣昭、一ノ瀬友孝、高橋智明、鼓 隆行、川越 肇、吉岡章子、鳥居高志</div> |
| 平成20年 2008年 | 第1会場（朝里川温泉スキー場） <div>大日方 健、土方泰斗、笹生修一、石井哲次、酒井祐一郎、高橋 香、真壁拓也、依田浩司、土井口亜弥、及川良雄、中谷知之、秋丸幸治、蟻川敏之、袖山大樹</div> 第3会場（上越国際スキー場） <div>坂本匡史、古根村敏也、中谷耕一、前川 悠、笹沼康典、中村浩章、清水 寛、小野哲也、鈴木勝也、中村英次、荒井拓磨、野島 潤、鈴木直樹、太田加奈子、高橋明子、渡辺義洋、八木翔子</div> 第4会場（朴の木平スキー場） <div>綿貫幸男、深渡 剛、金丸雄一</div> |
| 平成21年 2009年 | 第1会場（朝里川温泉スキー場） <div>加賀一有、木村 隆</div> 第3会場（サンアルピナ鹿島槍スキー場） <div>小澤正和、今野 順、西田悌彦、長谷川智樹、永田修一、櫻井貴之、芦澤 力、高橋友香、小高由佳、上野 暁、西 高志、塚本 潔、坂詰信夫、古閑一郎</div> |

準指導員合格者

| 年 度 | 合 格 者 |
|----------------|--|
| 平成12年 2000年 | 中根健生、竹内雄一、栗山美貴子、風間 猛、山田展正、小野夏子、黒川正孝、本田雅彦、太斉裕一、佐藤賢司、五藤知恵、新妻潤一、室岡 孝、安田真理、片瀬文雄、大杉 誠、内田勝巳、八幡勝巳、安藤元彦、三木 彰、鈴木慎治、笹岡靖弘、遠藤知孝、廣瀬武史、星野康浩、見竹康弘、高橋 豊、松島潤美、半沢裕司、浅野正樹、嶋本健一、正田恵寿、石井 大、白坂康弘、武井琢磨、鮎川高広、小林 貴、各務さつき、鈴木明久、須藤政志、大島祐一、山外昭博、高橋大輔、山中 渉、小田科子、武田 歩、岡畑収紀、荒木妙子、逸見哲男、羽石則子、牧田英子、武田竜子、内山直樹、内海弘和、上條英樹、蟻川敏之、高梨是是、村田真朗、伊藤英樹、中雄一郎、清水昭博、木村 達、宮本佐久良、林 智子、保科 健、原田祐治、杉山真一、越智英紀、大瀧美佐枝、西山美奈子、武井智栄、松本和徳、八代英輝、佐藤純子、粥川 寛、加茂勝康、大野憲一、佐藤和彦、藤沼一弘、遠藤 聡、鈴木 浩、塩谷将彦、竹谷親良、大木 誠、今野 忠、三原 博、杉山 真、武藤光生、小林 一、山崎智一、塩原純一、佐藤拓也、佐々木香夜子、野口亨洋、吉田俊史、後明正廣、片山政昭、橋本秀直、槻橋正峰、和田哲也、沖村芳仁、上條康弘、杉本幸雄、屋宜謙和、臼井 聡、、市川康平、鈴木敬太、富田範彦、種田直孝、高島亜也子、興名本崇、酒井祐一郎、渡久山大、小野起寛、佐藤財久、斉藤 弦、大槻慎一、谷口真治、及川 晋、菅野 学、高木康之、角田直彦、坂詰信夫、筑田則和、田中英里 |
| 平成13年 2001年 | 小島悟理、山川信一、青木 努、渡 勝利、小山田貴、萩原明東、小見康裕、西原秀一、関根新治、大久保理、佐野哲也、吉岡章子、秋元孝彦、岩崎照夫、鈴木徹哉、矢庭和正、佐々木栄悦、廣江則之、伊藤紀貴、稲村民雄、辻田禎光、勝間田浩一、佐々木恵無、田中幸一、高橋由起、瀬田貴之、伊東大介、吉田 茂、宍戸由範、柴山寿治、金井和男、峯吉誠司、山本 忠、鶴島 靖、高松 大、前田徹浩、仲野研一、遠藤良一、富田勝己、梶内俊宣、門倉昌巳、鶴田和弘、鶴 一弘、南雲憲政、槻橋聡美、海藤寿恵、桑原真由美、溝端岳士、菊地信貴、幸松 令、由利昌彦、大道 誠、正田清江、山本 篤、高橋 守、小林裕之、松宮由貴、高松利郎、田中祐司、小室智昭、高田哲子、高橋輝往、市川直美、若林信之、石井 剛、増山貴子、榎本品子、志村 僚、二階堂潤、茶谷雅夫、大内和也、坂本匡史、羽深嘉宣、鬼木一直、田村浩幸、神田 修、山川正一、土井義浩、隅 穂積、関根 剛、伊集院誠司、笹原寛其、笹原美千子、望月俊之、関根武蔵、丸山正樹、福谷大輔、佐々木信利、小川浩、小野田あやの、北原篤志、佐藤史子、加藤重治、齋藤清成、金森美和、島あさみ |
| 平成14年 2002年 | 中井洋平、五通貴司、正躰弥一郎、橋本 走、森永雅仁、今井敏彦、松田 孝、田村法子、野口文明、才津智美、久保川美和子、竹本雅詔、門倉雅美、柚木晃広、石黒学史、野中美樹、漆原宣昭、横内伸一、斉藤隆司、本間 修、糞田浩道、青木茂夫、矢内久光、中谷知之、佐藤諒一、尾形幸雄、長谷部強、手代和枝、黒田壽廣、鈴木 淳、上杉一哲、秋山貴寛、佐藤浩一、竹内雅二、柏原 勉、山本 亘、磨知 繁、関口久夫、伊藤利昭、平間康弘、牧野 雄、小野 靖、高橋佳秀、緑川則子、後藤 淳、熊倉幸郎、深渡 剛、小池資治、佐藤晃一、梶川悦子、清原章公、今川政樹、酒井康人、小野尚美、水谷 亨、杉山 明、柿澤正和、長樟隆志、小野澤将、牧 秀樹、村山章子、田中浩樹、藤井利唯、杉野英治、橋本慎介、守屋匡裕、杉山秀樹、千田康洋、室谷信晃、矢後忠男、二ノ宮岳、依田浩司、渡辺義洋、池谷公治、村瀬輝高、田安秀明、関口 誠、石井康子、小田切重篤、澤野智美、志村法之、大塚敦子、野原 亨、伊藤雅枝、三田 俊、川端亮之進、野口泰子、高橋知己、鎌田智哉、長島咲由里、石崎慎一、芦澤 力、吉岡浩子、一柳篤史、中村はづみ、矢代直也、竹内文崇、山本和弘、藤本晋也、稲垣宏一、小池 馨 |
| 平成15年 2003年 | 長田 亨、南雲 実、石田兼丈、平野久美、濱 秀徳、佐藤千草、佐久間尊、鈴木 彰、蓮見広樹、福井 剛、今野真智、青木祐介、成田俊昭、沼澤孝司、生井 稔、濱田義之、田隲忠国、石塚達也、中村嘉孝、渋谷正樹、奈良 浩、中島康裕、金子昭宏、尾崎武彦、川越 肇、木村 隆、秋田昌彦、加茂博己、田中直子、後藤健治、賛桂一郎、藤井俊充、富岡秀樹、大江道就、上村さゆり、石井哲次、國友新太、古根村敏也、高橋 香、笹岡良治、杉村光晴、嶋田幸誠、小泉結花里、宮島光宏、宮川秀久、保坂研一、橘 香樹、中村賢二、大橋正幸、玉澤一志、松長恵美、吉田拓未、臼井健治、高岸浩司、重田道保、和田 貢、島村陽一、山下信介、清水 篤、猪口裕之、関口浩基、鈴木良平、中島良明、秋山亜紀、渡部靖之、前田玲子、吉岡去私、野崎佳之、新堀奈穂子、堀内久一、池田貴信、依田真由美、樋口健司、小沼裕司、工藤康裕、松井亜也子、三森朋宏、興石友之、水津 巖、竹内規雄、上條浩一、佐藤しのぶ、関根雅敏、大平孝憲、高橋邦裕、大平竜也、大川広樹、石濱加奈子、田崎千絵、佐藤元拓、紺野敏之、小林圭史、仁田安季、山田千鶴 |

| 年 度 | 合 格 者 |
|----------------|--|
| 平成16年 2004年 | 町田哲男、西畑久美子、小柳新一、野中竹雄、川岸保貴、岡畑文子、綿貫幸男、栗原光弘、笹生修一、堀池章夫、宮沢秀幸、山内 望、中野真男、宮川和也、小森 昇、川村 毅、桑原 伸、小暮桂一、富川貴幸、川井英生、水野 祐、内村直人、笹野邦彦、見供正章、山崎 肇、友藤しのぶ、桑野善文、加藤昭子、深谷友紀子、鈴木忠信、濱崎一央、高橋 勉、加賀一有、真壁拓也、山上 昇、野田恭世、鈴木知美、笹沼康典、高橋智明、小野聡枝、長田雄一、山口晴孝、大澤恵美、及川たぎり、大野律子、中浦陽子、佐々木系子、吉田 恵、高橋友香、熊谷耕二、渡辺康子、中谷耕一、土方泰斗、櫻町美和、岩澤聰子、早川 宏、鳥居高志、野口真樹、岩見美穂、青木秀之、望月卓子、室伏美和、三浦泰次郎、坂本佳彦、田中彩美、岡田千臣、石井統丈、丹野俊昭、中西義憲、久保玲子、田邊洋一、松下直生、大日方健、谷口玲奈、杵渕直子、木村泰子、袖山大樹、松枝修平、石崎朋美、長谷川智樹、原 智志、前川 悠、石川隼人、中村浩章 |
| 平成17年 2005年 | 青木文明、山梨 努、古宮 勇、牧 英彦、山崎宏明、石森雄一、三浦徳生、飯島政夫、川名信義、清水祐一、鈴木直樹、田中雅也、中谷美沙、中村英次、石田浩之、野崎光洋、宮崎弘一、柴田裕之、松崎範行、大塚 隆、松本秀夫、甘糟裕次、栗崎昌吾、田中 亨、佐山勝之、須永まり子、讃岐 亮、村上みゆき、金野 順、金子尚志、永田修一、和泉淳子、佐藤良秀、木村実代、枝元純広、若木雅之、井口千早、宮川孝史、中本淑恵、富田 弘、黒山裕一、塚本 潔、奥野健一、有江 巧、佐々木順一、松田謙一、小野哲也、土屋雄裕、井ノ下明史、熊澤和男、佐々木具明、鈴木春香、桂 宏一、秋丸幸治、安齋貢一郎、清水孝一、山内尚子、北田光太郎、石河千佳、鈴木勝也、野島 潤、高岡正毅、西田悌彦、高松貴司、早川周平、金丸雄一、三浦弘巳、中丸洋二、小澤正和、蜂谷 清 |
| 平成18年 2006年 | 船本 進、相川春彦、元吉良則、神沢昌幸、小高由佳、村山 勝、山下 貢、久保智巳、仲亀雅巳、小泉顕一、五田市文典、前野泰士、西 高志、山崎峰左子、山田和正、鈴木美和子、清水祐子、高松家廣、櫻井貴之、中村吉孝、磯崙浩行、柳 俊介、菱田正和、石田俊宏、木田拓也、菅 博史、星野洋昭、橘川文夏、柴田雄一 |
| 平成19年 2007年 | 山田啓悟、宮田義秀、山谷光一、大西リエ、戸崎 光、内藤憲明、田村 敦、青柳幸司、伊東雅代、山本雅弘、丸太 隆、沼田一郎、柏井具子、浜田 智、橘 小由里、小林恒敬、三浦尚子、吉村 修、福田有克、井上かおり、藤原敏秀、吉田弥生、黒澤知恵、五十嵐繁紀、松本英昭、今野善江、野口英彦、荒幡 充、清田和人、小笠原 豊、中嶋里江、田上恭太郎、唐鎌祥代、太田陽介、斎藤尚道、坂本恵子、山岸亮良、平井 研、柿崎 智、中村麻衣子、児玉富子、萩原明智、藤坂 香、安河内洋二郎、吉野名穂子、挽地智志 |
| 平成20年 2008年 | 中川和彦、長沢壽人、遠藤照雄、石綿孝一、早川輝夫、山本 学、緒方正登、伊藤彰記、桑原 学、伊藤 薫、鈴木利光、村山直子、和田 晃、坪松正純、佐藤 潤、松本由香、岸 利明、野村小百合、本藤信弥、平野利信、丹羽弘子、矢崎浩之、野間本宏、宮原弥生、長谷部健彦、工藤 隆、畠山和久、成田幸生、横田吉平、舂山麻美、佐藤招快、山本正明、藤岡良仁、和田正裕、小野沢真菜美、秋山大輔、門倉美由紀、村田雄介、千葉尚香 |
| 平成21年 2009年 | 白井洵子、大日方雄三、飯島 倫、小坂谷米幸、小久保紀義、岡澤信一、秋山哲雄、橋本 豊、名取俊一、榎本 稔、岸 弘治、荒井孝典、南 啓史、北原泰男、上田尚輝、井上英年、石川秀明、小林 剛、小林祥子、日高国生、熊代浩一、久村博紀、川野達也、秋庭慎夫、吉野秀佳、太田いずみ、福田美都子、山田昌史、山本武志、太田英男、浅田 悟、松村祐治、早川理恵子、石田由利子、鷺津 大、三橋英雄、石原 純、星野寛子、相沢啓介、飯田恵子、三ノ宮暁子、照井 泰、茂木佳代子、内藤岳大、関美和子、杉浦正太郎、平賀淳人 |

SAJスノーボード指導員合格者

| 年 度 | 合 格 者 |
|----------------|---|
| 平成9年 1997年 | 渡部 節、東海林延友 |
| 平成10年 1998年 | 佐藤源之、加藤晃仁、松崎英夫、小林俊一郎、柳田英俊、池田俊明 |
| 平成11年 1999年 | 坂上祥一、立石 直、金沢正行、藤森徳英 |
| 平成12年 2000年 | 青木栄治、宝田元大、南崎哲也、高落照治、倉金郁夫、松里 啓、国島 豊、田島正光、高橋佳伸、高橋祐美子、森山貢次、鈴木統也、宮下和男、鈴木 明、土屋光巨、渡部 亮、河野 剛、峰 哲幸、江守 昇、石川康利、辻村幸彦、比留間智、高橋節男、淀川昭洋、高田一也、鈴木 正、廣井公二、佐々木耕司、小川 敦、山縣利久、喜芳友美、金城祐美子、蒲生浩市、田辺典之、河本和志、長谷川清志、佐藤恭子、増田 恒、成田正仁、佐藤宏行、増山容子、長谷川誠一、平岩 健 |
| 平成13年 2001年 | 大内健司、山本好男、武田真人、久保田康彦、山田邦夫、小川邦幸、山田 聡、田辺貴洋、西尾良方 |
| 平成14年 2002年 | 高田徳潤、鈴木勝之、才木忠士、塩原 裕、半田政一、松岡孝明、高田徳潤 |
| 平成15年 2003年 | 望月博文、根本永悟 |
| 平成16年 2004年 | 岩森一也、小池 光、高谷淳二、村野義哉、勝俣順二 |
| 平成17年 2005年 | 渡辺儀一、近藤孝晴、高橋礼之 |
| 平成18年 2006年 | 齐藤成子、甲田慎一郎、宮崎 勝 |
| 平成19年 2007年 | 坂本毅浩、小泉貴之、藤原秀隆、松本東始、 |
| 平成20年 2008年 | 行方洋子、奥野明美、圓岡めぐみ、臼井裕二、須田大樹、柳澤治樹、柳澤由理、鈴木正樹 |
| 平成21年 2009年 | 芝 顕三、落合功二、渡辺 泉、佐藤 輝、藤田洋郷、渡辺智弘、鈴木 武、亀井慶三、楽本欣明、佐藤一彦 |

注1）SAJ スノーボード指導員制度は、1996年制定、1997年度から実施されています。

注2）他団体資格所持者の特別推薦合格者を含んでいます。

神奈川県スノーボード指導員合格者

| 年 度 | 合 格 者 |
|----------------|---|
| 平成11年 1999年 | 安藤晋自、石川泰利、内田 肇、江守 昇、角田靖弘、金子 敦、河本和志、国島 豊、久保川正文、小泉裕昭、佐藤恭子、佐藤宏行、鳥津勇雄、鈴木 明、鈴木勝之、鈴木統也、高田一也、高田徳潤、高橋竜昇、高橋節男、高橋浩和、高橋祐美子、高橋佳伸、高松 悟、田嶋正充、辻村幸彦、成田正仁、西潟泰伸、長谷川清志、畑内広幸、林 航司、比留間 智、藤田充隆、藤原紀男、平馬貴史、前田秀文、増田 恒、増山容子、峯尾昌矢、峰 哲幸、宮下和男、森山貢次、山田邦夫、吉田 淳、淀川 昭洋 |
| 平成12年 2000年 | 岡田 勝、久保田康彦、佐藤由美、仲井 潤、橋場亜矢、松岡孝明、松村智明、守屋孝樹、山本好男 |
| 平成13年 2001年 | 岩森一也、小池 光、進藤健二、高谷淳二、田原 薫、半田昭彦、望月博文、和田友子 |
| 平成14年 2002年 | 今井直美、芝 顕三、平野貴也 |

注3）神奈川県スノーボード指導員は、2003年12月までにSAJ スノーボード準指導員 資格へ移行しました。

SAJスノーボード準指導員合格者

| 年度 | 合格者 |
|----------------|---|
| 平成15年 2003年 | 斎藤成子、甲田慎一郎、高谷美遠利、館山美和 |
| 平成16年 2004年 | 武藤貴俊、坂本毅浩、佐藤 実、宮川康弘、安藤晋白、高松 悟、西潟泰伸、守屋孝樹、松村智明、進藤健二、田原 薫、半田昭彦、和田友子、渡辺有紀、原 智美、下前 忍、篠原 淳、倉内智哉 |
| 平成17年 2005年 | 添田 悟、角 哲夫、徳山勝也、秋山貴行、長尾大龍、落合功二、野沢竜也、桜庭幹子、奥野明美 |
| 平成18年 2006年 | 中谷幾市、加藤 崇、高雲朋子、児玉祐子、田邊真弓、庚 泉、小林めぐみ、柿崎昌志、深澤美樹、大内深雪、河野ゆかり、大隈健二、桐原 慎 |
| 平成19年 2007年 | 田村浩孝、今野 忠、黒田幸男、長久 充、中山啓一、山崎智一、佐藤美加子、大歳憲一、下嶋秋輝、山崎聡子、海藤寿恵、御園雄太、館ゆりこ、河村昌治、相原理沙、中野美代子、和羅直樹、堤 英憲、小泉淳二、油原正弥、油原正江、小林慎治、林 伸次、安田智史、柿澤茂行、竹島正彦 |
| 平成20年 2008年 | 小峰あき子、中村典生、松坂武士、北井道友、山崎康史、近藤敬介、喜讀ゆかり、加藤哲久、坂田 肇、廣瀬智子、三木紀子 |
| 平成21年 2009年 | 鹿島美雪、清水幸政、益子 茜、井上二元、石原秀人、柏 恵子 |

注4) SAJ スノーボード準指導員検定が開始されたのは、2003年度からです。(SAJ スノーボード規約改定による)

注5) 他団体資格所持者の特別推薦合格者を含んでいます。

神奈川県スキー技術選手権大会成績(兼:神奈川県学生スキー選手権大会)

| | | SAK | SAK | SAK・SAC | SAK・SAC | SAK・SAC |
|------------|-----|----------------|----------------|----------------|---------------------|----------------|
| | | 第13回神奈川県技選 | 第14回神奈川県技選 | 第1回 | 第2回 | 第3回 |
| 期日 | | 平成12年1月28日～30日 | 平成13年1月26日～28日 | 平成14年1月25日～27日 | 平成15年1月24日～26日 | 平成16年1月23日～25日 |
| 会場 | | 車山高原スキー場 | 車山高原スキー場 | 車山高原スキー場 | 車山高原スキー場 | 車山高原スキー場 |
| 男子 | 1 位 | 永田憲一郎 | 武田真樹 | 宮城洋二(SAK) | 伊藤敦(SAC) | 伊藤敦(SAC) |
| | 2 位 | 庚城敏久也 | 宮城和也(SAK) | 翠川和也(SAK) | 翠川和也(SAK) | 武田真樹(SAK) |
| | 3 位 | 翠川和也 | 翠川和也 | 工藤英明(SAK) | 佐藤拓也(SAK) | 翠川和也(SAK) |
| | 4 位 | 伊東雄洋 | 小林英二 | 小林英二(SAK) | 高橋浩二(SAC) | 佐藤拓也(SAK) |
| | 5 位 | 伊宮城洋 | 永田憲一郎 | 佐藤拓也(SAK) | 小林伊美樹(SAK) | 佐々木誠互(SAC) |
| | 6 位 | 工藤英明 | 工藤英明 | 武田真樹(SAK) | 中村浩章(SAK) | 工藤英明(SAK) |
| (男子35歳以上)部 | 1 位 | 蓑島新一 | 加賀義人 | 加賀義人 | 蓑島新一 | |
| | 2 位 | 小橋本重 | 渡辺修 | 渡辺修 | 加賀内一也 | |
| | 3 位 | 橋本重 | 久保巖也 | 袴田修 | 竹栗嘉勝 | |
| | 4 位 | 長原篤 | 長原真貴 | 橋本嘉勝 | 渡田勝 | |
| | 5 位 | 藤久保 | 小原真貴 | 蓑島篤 | 袴田修 | |
| | 6 位 | 寺川健吾 | 藤原篤 | 藤原篤 | 池前川憲之 | |
| (男子45歳以上)部 | 1 位 | | | 遠藤正隆 | 池前川憲之 | |
| | 2 位 | | | 古林康雄 | 小嶋孝一 | |
| | 3 位 | | | 秋山山輝 | 小嶋孝一 | |
| | 4 位 | | | 東飯島宏 | 長谷部一 | |
| | 5 位 | | | | 東田一 | |
| | 6 位 | | | | | |
| 学生男子 | 1 位 | 中井洋平 | 今井勝晴 | 佐藤拓也 | 佐藤拓也 | |
| | 2 位 | 今井勝貴 | 秋元孝彦 | 秋元孝彦 | | |
| | 3 位 | 福山端川 | 福山端川 | 池田井 | | |
| | 4 位 | 早川周平 | | | | |
| | 5 位 | 正井弥一 | | | | |
| | 6 位 | | | | | |
| 女子 | 1 位 | 飯島久美子 | 飯島久美子 | 永吉雪絵(SAK) | 飯島久美子(SAK) | 進藤幸恵(SAC) |
| | 2 位 | 永吉雪明 | 高木吉明 | 飯島久美子(SAK) | 永吉雪絵(SAK) | 吉原ゆみ子(SAC) |
| | 3 位 | 伊藤諭 | 手塚雅世 | 進藤幸恵(SAC) | 吉原ゆみ子(SAC) | 永吉雪絵(SAK) |
| | 4 位 | 花手塚雅 | 吉田雅世 | 竹中節子(SAC) | 進藤幸恵(SAC) | 小沼みはる(SAK) |
| | 5 位 | 高木彩 | 吉田雅世 | 内田蘭子(SAC) | 高濱充貴(SAC) | 本田万里子(SAK) |
| | 6 位 | | | 本田万里子(SAK) | 富田啓子(SAC) | 大津郁子(SAC) |
| 学生 | 1 位 | 小野夏子 | 田村法和 | 田村法和 | | |
| | 2 位 | | 小林和香 | | | |
| | 3 位 | | | | | |
| | 4 位 | | | | | |
| | 5 位 | | | | | |
| | 6 位 | | | | | |
| クラブ対抗戦 | 1 位 | | | | まつりスキークラブ(その一) | |
| | 2 位 | | | | シーサイドスキークラブ | |
| | 3 位 | | | | シーフェルS.C.A | |
| | 4 位 | | | | 平塚スキークラブ | |
| | 5 位 | | | | クリスタライズスキークラブ チームみの | |
| | 6 位 | | | | 厚木スキークラブ | |

| | | SAK・SAC | SAK・SAC | SAK・SAC | SAK・SAC | SAK・SAC |
|------------|-----|-----------------|-------------------|----------------|----------------|--------------|
| | | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 |
| 期日 | | 平成17年1月21日～23日 | 平成18年1月21日～23日 | 平成19年1月20日～22日 | 平成20年1月19日～21日 | 平成21年2月7日～9日 |
| 会場 | | 車山高原スキー場 | 車山高原スキー場 | 車山高原スキー場 | 車山高原スキー場 | 車山高原スキー場 |
| 男子 | 1 位 | 平井良司(SAC) | 佐藤拓也(SAK) | 佐藤拓也(SAK) | 村田雄介(SAK) | 鶴井靖之(SAC) |
| | 2 位 | 佐藤拓也(SAK) | 武田真樹(SAK) | 平井良司(SAC) | 鶴井靖之(SAC) | 村田雄介(SAK) |
| | 3 位 | 翠川和也(SAK) | 平井良二(司)(SAC) | 中村浩章(SAK) | 平井良司(SAC) | 中村浩章(SAK) |
| | 4 位 | 中村浩章(SAK) | 中村浩章(SAK) | 鶴井靖之(SAC) | 佐藤拓也(SAK) | 平井良司(SAK) |
| | 5 位 | 工藤英明(SAK) | 翠川和也(SAK) | 翠川和也(SAK) | 中村浩章(SAK) | 佐藤拓也(SAK) |
| | 6 位 | 佐々木誠互(SAC) | 鶴井靖之(SAC) | 武田真樹(SAK) | 翠川和也(SAK) | 佐藤享(SAC) |
| (男子35歳以上)部 | 1 位 | 工藤英明 | 工藤英明 | 石濱慎司 | 石濱慎司 | |
| | 2 位 | 石濱慎司 | 石濱慎司 | 槻橋正峰 | 槻橋正峰 | |
| | 3 位 | 加賀義人 | 西高志人 | 西高志人 | 西高志人 | |
| | 4 位 | 西高志人 | 加賀義人 | 渡勝利 | 渡勝利 | |
| | 5 位 | 上平雄二 | 菅原有介 | 五日市文典 | 五日市文典 | |
| | 6 位 | 渡勝二 | 々々木光昌 | 佐々木光昌 | 佐々木光昌 | |
| (男子45歳以上)部 | 1 位 | 袴田修二 | 橋本重広 | 江川善一 | 袴田修二 | |
| | 2 位 | 金子広志 | 袴田修二 | 袴田修二 | 袴田修二 | |
| | 3 位 | 池亀広一 | 崎藤政則 | 吉田昌俊 | 吉田昌俊 | |
| | 4 位 | 東田川孝次 | 斎藤政則 | 斉藤彰俊 | 斉藤彰俊 | |
| | 5 位 | 長谷川健一 | 金子嘉也 | 竹内雅二 | 竹内雅二 | |
| | 6 位 | 小嶋孝次 | 栗田嘉也 | 宮崎尚 | 宮崎尚 | |
| 学生男子 | 1 位 | 佐藤拓也 | 戸川憲嗣 | 杵渕桂一 | 杵渕桂一 | |
| | 2 位 | 戸川憲嗣 | | 星野慎一郎 | 星野慎一郎 | |
| | 3 位 | | | 稲葉慎一郎 | 稲葉慎一郎 | |
| | 4 位 | | | 井倉崇雄 | 井倉崇雄 | |
| | 5 位 | | | 和田将平 | 和田将平 | |
| | 6 位 | | | 若山貴英 | 若山貴英 | |
| 女子 | 1 位 | 吉原ゆみ子(SAC) | 進藤幸恵(SAC) | 原 織(SAK) | 吉野 蘭子(SAC) | 小林 育美(SAK) |
| | 2 位 | 進藤幸恵(SAC) | 原 織(SAK) | 佐伯 育美(SAK) | 佐伯 育美(SAC) | 諏訪部 織(SAK) |
| | 3 位 | 小沼みはる(SAK) | 武井 智栄(SAK) | 武井 智栄(SAK) | 吉原ゆみ子(SAC) | 永易 佐和(SAC) |
| | 4 位 | 吉野 蘭子(SAC) | 吉野 蘭子(SAC) | 永易 佐和(SAC) | 諏訪部 織(SAK) | 峰谷 匠子(SAC) |
| | 5 位 | 原 織(SAK) | 本田万里子(SAC) | 吉原ゆみ子(SAC) | 太田加奈子(SAK) | 猪村万里子(SAK) |
| | 6 位 | 手塚 雅世(SAC) | 手塚 雅世(SAC) | 太田加奈子(SAC) | 武井 智栄(SAK) | 八木 翔子(SAK) |
| 学生 | 1 位 | | | 二階堂彩子 | | |
| | 2 位 | | | 田島 優 | | |
| | 3 位 | | | | | |
| クラブ対抗戦 | 1 位 | まつり侍切腹 | おまつり野郎Aチーム | | | |
| | 2 位 | シーサイドスキーAチーム | シーサイドスキークラブA | | | |
| | 3 位 | 平塚スキークラブ | 平塚スキークラブAチーム | | | |
| | 4 位 | シーフェルスキークラブAチーム | 恋のおまつり騒ぎ | | | |
| | 5 位 | シーサイドスキーCチーム | クリスタライズスキークラブAチーム | | | |
| | 6 位 | 慶大スキッピースキークラブ | 慶大スキッピースキークラブ | | | |

スノーボード指導員資格の経緯について

① SAJ スノーボード指導員

1996年制定

1997年度から現在までの合格者を掲載します。

講習検定会の時代、一般検定、特別推薦合格の3つが存在します。

現在は一般検定と特別推薦になります。

一般受検では2002年度までスキー指導員、スキー準指導員、加盟団体スノーボード指導員資格所持で受検できました。

現在の一般受検はスキー指導員とスノーボード準指導員資格(丸2年以上の保持)となっています。

2000年10月から2002年9月末までJSBA A・B級インストラクター所持者は、SAJ スノーボード指導員へ特別推薦できていました。

それ以降、特別推薦できるのは、JSBA A級インストラクター所有者のみです。

② 神奈川県スノーボード指導員 (SAK スノーボード指導員)

1998年制定

SAJ スノーボード準指導員とは分けて合格者を掲載します。

SAJ スノーボード準指導員制度が制定されるまでの間の制度で、1999年度から2002年度までの4年間の制度です。

最終的にはSAK スノーボード指導員の資格保持者は、2002年10月から2003年12月までに、SAJ スノーボード準指導員資格へ移行しました。

③ SAJ スノーボード準指導員

2002年制定

2003年度から現在の一般受検合格者、特別推薦合格者を掲載します。

SAJ スノーボード準指導員の特別推薦合格者は以下の3つの資格から出ています。

a) JSBA B級インストラクター資格所持による特別推薦

b) SIA スノーボード指導者レベル「資格所持による特別推薦

c) 神奈川県スノーボード指導員資格所持による資格移行 (2003年のみ)

注) 特別推薦合格者はSAJ 理事会で開催毎に承認・公認されます。

神奈川県スキー選手権大会成績(アルペン女子)

| | 第58回 | | 第59回 | | 第60回 | | 第61回 | | 第62回 | |
|----------|----------------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 期 日 | 平成12年3/11~12 | | 平成13年3/10~11 | | 平成14年3/8~10 | | 平成15年3/8~10 | | 平成16年3/6~7 | |
| 会 場 | 上越国際スキー場 | | 上越国際スキー場 | | 上越国際スキー場 | | 上越国際スキー場 | | 上越国際スキー場 | |
| 種 目 | 回 転 | 大回 転 | 回 転 | 大回 転 | 回 転 | 大回 転 | 回 転 | 大回 転 | 回 転 | 大回 転 |
| 成年女子 B | 1位 才原 備子 2位 安彦 博子 3位 柏木しのぶ | 山本智恵子 水野みどり 柏木しのぶ | 才原 備子 伊藤 優子 杉本 博美 | 木村 明子 水野みどり 中村 晶子 | 岩澤 愛子 水野みどり 佐藤 由美 | 水野みどり 世良 利香 羽鳥 綾子 | 佐藤 由美 波江野愛子 水野みどり | 鹿野亜季子 水野みどり 木村 明子 | 鹿野亜季子 斎藤 広恵 杉本 博美 | 鹿野亜季子 杉本 博美 水野みどり |
| 成年女子 A | 1位 吉見 慶子 2位 岩澤 愛子 3位 小楠 亜衣 | 星川亜季子 吉見 慶子 春国その子 | 岩澤 愛子 山田かずみ 田中 英里 | 藤谷江里子 春国その子 山田かずみ | 山田かずみ 奥田 史子 田中 英里 | 山田かずみ 三島 直美 前田恵美子 | 斎藤 広恵 菊地 美保 久田 寛子 | 菊地 美保 三島 直美 村岡 樹里 | 田盛 友香 玉城 晶子 大久保成子 | 田盛 友香 大久保成子 玉城 晶子 |
| 少年女子 | 1位 八木 翔子 2位 今利 紗紀 3位 長谷川泰子 | | 井出 晶子 平賀 安奈 平賀亜里沙 | | | | 平賀 安奈 平賀亜里沙 井出 晶子 | | 宮川 友希 市川 涼 森 美波 | 宮川 友希 門脇 香里 森 美雪 |
| 高校生女子 | 1位 2位 3位 | | 今利 紗紀 葉梨 啓子 長谷川泰子 | | 関 美和子 門倉美由紀 湯田あずさ | 原田 聡美 関 美和子 湯田あずさ | 関 美和子 川上 沙織 湯田あずさ | | 平賀亜里沙 井出 晶子 川上 沙織 | |
| 中学生女子 | 1位 2位 3位 | 八木 翔子 関 美和子 平賀亜里沙 | | 高井 美弥 平賀亜里沙 井出 晶子 | 井出 晶子 平賀亜里沙 | 井出 晶子 平賀 安奈 平賀亜里沙 | | 平賀 安奈 三浦 奈々 関 麻美子 | | 市川 涼 平賀智菜実 平原 麻美 |
| 小学校高学年女子 | 1位 2位 3位 | | 平賀 安奈 関 麻美子 小笹 佳奈 | | 関 麻美子 宅間英里子 森 美波 | | | | | |
| 小学校低学年女子 | 1位 2位 3位 | | | | 久保 広美 | | | | | |
| 女子チルドレン2 | 1位 2位 3位 | | | | | 藤本 千紘 藤本 千紘 田所 冬美 森 美波 | | 藤本 千紘 | | 川本 愛理 |
| 女子チルドレン1 | 1位 2位 3位 | | | | | | | 八代 和 | | 川本 莉愛 |

| | 第63回 | | 第64回 | | 第65回 | | 第66回 | | 第67回 | |
|----------|----------------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 期 日 | 平成17年3/5~6 | | 平成18年3/4~5 | | 平成19年3/3~4 | | 平成20年3/8~9 | | 平成21年3/7~8 | |
| 会 場 | 上越国際スキー場 | | 上越国際スキー場 | | 上越国際スキー場 | | 上越国際スキー場 | | 上越国際スキー場 | |
| 種 目 | 回 転 | 大回 転 | 回 転 | 大回 転 | 回 転 | 大回 転 | 回 転 | 大回 転 | 回 転 | 大回 転 |
| 成年女子 B | 1位 斎藤 広恵 2位 森川 順子 3位 高木 彩 | 佐藤 由美 斎藤 広恵 相澤 博美 | 杉本 博美 相澤 博美 今野 裕子 | 佐藤 由美 相澤 博美 杉本 博美 | 杉本 博美 今野 裕子 中谷 順子 | 寺嶋 陽子 佐藤 由美 相澤 博美 | 杉本 博美 今野 裕子 葛岡 智子 | 森川 順子 杉本 博美 鈴木芽久美 | 森川 順子 相澤 博美 松原 靖子 | 森川 順子 北野 由美 相澤 博美 |
| 成年女子 A | 1位 田盛 友香 2位 中島 暁子 3位 | 田盛 友香 中島 暁子 | 菊地 美保 武内里枝子 | 田中 未起 林 菜穂子 深沢 晶 | | 林 菜穂子 武内里枝子 | | | 小林明日香 田所 冬美 村上 早紀 | 田所 冬美 小林明日香 |
| 少年女子 | 1位 2位 3位 | 三浦 奈々 佐藤 唯 田所 冬美 | 三浦 奈々 田所 冬美 佐藤 唯 | | 関 麻美子 平賀智菜実 松坂 麻央 | 平賀智菜実 松坂 麻央 関 麻美子 | 松坂 麻央 田所 冬美 | 松坂 麻央 田所 冬美 高橋 麻美 | | 鈴木香菜子 土志田るり子 常田 初美 |
| 高校生女子 | 1位 2位 3位 | | | | | | | | | |
| 中学生女子 | 1位 田所 冬美 2位 松坂 麻央 3位 平賀智菜実 | 松坂 麻央 平賀智菜実 西川 沙羅 | 松坂 麻央 川本 愛理 平賀智菜実 | 平賀智菜実 松坂 麻央 川本 愛理 | 川本 愛理 須藤 裕菜 西川 沙羅 | 西川 沙羅 神 麻子 川本 愛理 | 川本 愛理 堀 桃子 後藤 晶絵 | 川本 愛理 堀 桃子 後藤 晶絵 | 乾 愛香 後藤 晶絵 今野 明理 | 今野 明理 後藤 晶絵 土井 桃花 |
| 小学校高学年女子 | 1位 岩田 翠 2位 秋元 察月 3位 神 麻子 | 川本 愛理 荒井 美蘭 岩田 翠 | 堀 桃子 川本 莉愛 荒井 美蘭 | 堀 桃子 今野 明理 川本 莉愛 | 川本 莉愛 今野 明理 草野 麻美 | 今野 明理 川本 莉愛 草野 桃子 | 川本 莉愛 草野 麻美 米山 沙希 | 川本 莉愛 草野 桃子 米山 沙希 | 在原 菅音 仲 美南 山口 碧 | 米山 沙希 三宅 優花 草野 桃子 |
| 小学校低学年女子 | 1位 秋元 沙月 2位 3位 | 河合 千月 秋元 沙月 | 小笠原萌佳 松岡 瑞季 村山 美海 | 小笠原萌佳 松岡 瑞季 村山 美海 | 小笠原萌佳 田村みのり | 小笠原萌佳 田村みのり | | 田村みのり 仲 美南 | 坂本 麻衣 鎌田 理緒 | 今野麻里子 坂本 麻衣 鎌田 理緒 |
| 女子チルドレン2 | 1位 2位 3位 | | | | | | | | | |
| 女子チルドレン1 | 1位 2位 3位 | | | | | | | | | |

神奈川県スノーボード選手権大会

| | 第5回 | | | | | 第6回 | | | | | 第7回 | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|-----------|----|----------|---------------|---------------------|-----------|----|------|-----------|---------------------|-----------|-----------|---------------|----|-------|---------------|---------------|----|-------|---------------|
| | 第5回スノーボード選手権南関東大会 | | | | | 第6回スノーボード選手権大会南関東大会 | | | | | 第7回スノーボード選手権大会南関東大会 | | | | | | | | | | |
| | 2000/1/14-16 | | | | | 2001/1/26-28 | | | | | 2002/3/16-17 | | | | | | | | | | |
| | 野辺山スキー場 | | | | | 野辺山スキー場 | | | | | 野辺山スキー場 | | | | | | | | | | |
| 種目 | SAK 順位 | FIS 順位 | 名前 | | 種目 | SAK 順位 | FIS 順位 | 名前 | | クラブ名 | 種目 | SAK 順位 | FIS 順位 | 名前 | | クラブ名 | | | | | |
| 男子GS | | | 1 | 小口 雅 裕 | 男子Parallel GS | | | 1 | 青木 涉 | GSS WINGS | 男子GS | | | 1 | 13 | 佐々木 優 | Japan Factory | | | | |
| | | | 2 | 飯田 圭 | | | | 2 | 8 | 佐々木 優 | | | | Japan Factory | 2 | 24 | 青木 裕次 | GSS WINGS | | | |
| | | | 3 | 高島 正 典 | | | | 3 | 11 | 廣井 公二 | | | | 茅ヶ崎SBC | 3 | 26 | 長岡 英明 | Japan Factory | | | |
| | | | 4 | 小山 純 | | | | 4 | 18 | 長岡 英明 | | | | Japan Factory | 4 | 30 | 杉浦竜太郎 | GSS WINGS | | | |
| | | | 5 | 和田 吉 宏 | | | | 5 | 24 | 萩原 岳史 | | | | GSS WINGS | 5 | 37 | 中西 賢 | GSS WINGS | | | |
| | | | 6 | 布施 典 宏 | | | | 6 | 25 | 鈴木 剛 | | | | 茅ヶ崎SBC | 6 | 44 | 高橋 佳伸 | ビュースポーツクラブ | | | |
| 男子PGS | | | 1 | 飯田 圭 | 男子Parallel GS | | | 1 | 9 | 青木 涉 | GSS WINGS | | | | | | | | | | |
| | | | 2 | 田淵 幸 治 | | | | 2 | 14 | 佐々木 優 | Japan Factory | | | | | | | | | | |
| | | | 3 | 和田 吉 宏 | | | | 3 | 17 | 長岡 英明 | Japan Factory | | | | | | | | | | |
| | | | 4 | 高島 正 典 | | | | 4 | 22 | 渡部 亮 | 湘南雪だるま | | | | | | | | | | |
| | | | 5 | | | | | 5 | 23 | 廣井 公二 | 茅ヶ崎SBC | | | | | | | | | | |
| | | | 6 | | | | | 6 | 26 | 萩原 岳史 | GSS WINGS | | | | | | | | | | |
| 男子SL | | | 1 | 岸本 大 樹 | | | | | | | | 男子SL | | | | | | | | | |
| | | | 2 | 飯田 圭 | | | | | | | | | | | | | | 1 | 11 | 長岡 英明 | Japan Factory |
| | | | 3 | 長岡 英 明 | | | | | | | | | | | | | | 2 | 13 | 佐々木 優 | Japan Factory |
| | | | 4 | 小山 純 | | | | | | | | | | | | | | 3 | 27 | 中西 賢 | GSS WINGS |
| | | | 5 | 高島 正 典 | | | | | | | | | | | | | | 4 | 28 | 朴 敦司 | GSS WINGS |
| | | | 6 | 青木 涉 | | | | | | | | | | | | | | 5 | 32 | 青木 裕次 | GSS WINGS |
| 男子PSL | | | 1 | 長岡 英 明 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 2 | 岸本 大 樹 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 3 | 小口 雅 裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 4 | 飯田 圭 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 女子GS | | | 1 | 鈴木 千 裕 | 女子Parallel GS | | | 1 | 2 | 中西 匠子 | GSS WINGS | 女子GS | | | | | | | | | |
| | | | 2 | 中田 重 美 | | | | 2 | 3 | 村上 真世 | Japan Factory | | | | | | | | | | |
| | | | 3 | 細谷 さくら | | | | 3 | 8 | 町田 祥子 | GSS WINGS | | | | | | | | | | |
| | | | 4 | 河合 呂 美 | | | | 4 | 10 | 河合 佐美 | GSS WINGS | | | | | | | | | | |
| | | | 5 | 大田 結 季 | | | | 5 | 12 | 中西 珠子 | GSS WINGS | | | | | | | | | | |
| | | | 6 | 中西 匠子 | | | | 6 | 13 | 河合 呂美 | GSS WINGS | | | | | | | | | | |
| 女子PGS | | | 1 | 中田 重 美 | 女子Parallel GS | | | 1 | 8 | 町田 祥子 | GSS WINGS | | | | | | | | | | |
| | | | 2 | 河合 呂 美 | | | | 2 | 9 | 中西 珠子 | GSS WINGS | | | | | | | | | | |
| | | | 3 | 鈴木 千 裕 | | | | 3 | 11 | 波原 茜 | GSS WINGS | | | | | | | | | | |
| | | | 4 | 細谷 さくら | | | | 4 | 14 | 中西 匠子 | GSS WINGS | | | | | | | | | | |
| | | | 5 | | | | | 5 | 15 | 太田 結季 | GSS WINGS | | | | | | | | | | |
| | | | 6 | | | | | 6 | 16 | 村上 真世 | Japan Factory | | | | | | | | | | |
| 女子SL | | | 1 | 鈴木 千 裕 | | | | | | | | 女子SL | | | | | | | | | |
| | | | 2 | 河合 佐 美 | | | | | | | | | | | | | | 1 | 6 | 岡本 信子 | GSS WINGS |
| | | | 3 | 家根 谷 依 里 | | | | | | | | | | | | | | 2 | 9 | 中西 匠子 | GSS WINGS |
| | | | 4 | 大田 結 季 | | | | | | | | | | | | | | 3 | 12 | 中西 珠子 | GSS WINGS |
| | | | 5 | 半沢 千 絵 | | | | | | | | | | | | | | 4 | 13 | 波原 茜 | GSS WINGS |
| | | | 6 | 中田 重 美 | | | | | | | | | | | | | | 5 | 14 | 高橋祐美子 | ビュースポーツクラブ |
| 女子PSL | | | 1 | 鈴木 千 裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 2 | 中田 重 美 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 3 | 大田 結 季 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 4 | 並木 里 也 子 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 第8回 | | | | | 第9回 | | | | | 第10回 | | | | |
|-------------------|-----------|-----------|-------|-------------|-------------------------|-----------|------------------|----------|------|----------------------|-----------|---------------|----|------|
| 第8回スノーボード選手権南関東大会 | | | | | 第9回スノーボード選手権大会南関東大会 | | | | | 第10回スノーボード選手権大会南関東大会 | | | | |
| 2003.01.18-19 | | | | | 2004.01.24-25 | | | | | 2005.01.22-23 | | | | |
| 尾瀬戸倉スキー場 | | | | | 尾瀬戸鞍スキー場 | | | | | 尾瀬戸鞍スキー場 | | | | |
| 種目 | SAK 順位 | FIS 順位 | 名前 | クラブ名 | 種目 | SAK 順位 | FIS 順位 | 名前 | クラブ名 | 種目 | SAK 順位 | FIS 順位 | 名前 | クラブ名 |
| 男子 GS | 1 | 9 | 玉木 啓太 | GSS WINGS | Giant Slalom M | 1 | MIYAO KAZUNORI | 男子 GS | 1 | 5 | 深見 将志 | Japan-Factory | | |
| | 2 | 13 | 野村 徹也 | ビュアスポーツクラブ | | 2 | TOZAKI HIROKI | | 2 | 11 | 中西 賢 | GSS WINGS | | |
| | 3 | 14 | 富張 恭司 | ビュアスポーツクラブ | | 3 | TSURUOKA KENTARO | | 3 | 23 | 坂本 毅浩 | GSS WINGS | | |
| | 4 | 17 | 深見 将志 | 横浜スノーボードクラブ | | 4 | GOTO TOMOKI | | 4 | | | | | |
| | 5 | 35 | 小野 喜之 | GSS WINGS | | 5 | OHASHI YOHEI | | 5 | | | | | |
| | 6 | | | | | 6 | YADA SHOTA | | 6 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 男子 SL | 1 | 8 | 富張 恭司 | ビュアスポーツクラブ | Parallel Slalom M | 1 | TOZAKI HIROKI | 男子 SL | 1 | 6 | 深見 将志 | Japan-Factory | | |
| | 2 | 11 | 深見 将志 | 横浜スノーボードクラブ | | 2 | GOTO TOMOKI | | 2 | 8 | 中西 賢 | GSS WINGS | | |
| | 3 | 23 | 布施 典広 | GSS WINGS | | 3 | TSURUOKA KENTARO | | 3 | | | | | |
| | 4 | 29 | 野村 徹也 | ビュアスポーツクラブ | | 4 | WADA YOSHIHIRO | | 4 | | | | | |
| | 5 | 31 | 小野 喜之 | GSS WINGS | | 5 | MORINO YOSHINORI | | 5 | | | | | |
| | 6 | | | | | 6 | SASAKI YASUTOMO | | 6 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 女子 GS | 1 | 4 | 中西 珠子 | GSS WINGS | Giant Slalom L | 1 | YAMAGISHI YUKI | 女子 GS | 1 | 1 | 加藤 美哉 | Japan-Factory | | |
| | 2 | 11 | 館山 美和 | ビュアスポーツクラブ | | 2 | OTA YUKI | | 2 | | | | | |
| | 3 | | | | | 3 | NAKADA AYA | | 3 | | | | | |
| | 4 | | | | | 4 | MIYATAKE SHOHKO | | 4 | | | | | |
| | 5 | | | | | 5 | KOGA AYAKA | | 5 | | | | | |
| | 6 | | | | | 6 | KAWAI ROMI | | 6 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 女子 SL | 1 | 5 | 館山 美和 | ビュアスポーツクラブ | Giant Slalom L | 1 | MIYATAKE SHOHKO | 女子 SL | 1 | 4 | 加藤 美哉 | Japan-Factory | | |
| | 2 | 11 | 岡本 信子 | GSS WINGS | | 2 | NAKADA AYA | | 2 | | | | | |
| | 3 | | | | | 3 | KOGA AYAKA | | 3 | | | | | |
| | 4 | | | | | 4 | OTA YUKI | | 4 | | | | | |
| | 5 | | | | | 5 | KATO MIYA | | 5 | | | | | |
| | 6 | | | | | 6 | YAMAGISHI YUKI | | 6 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |

| 第11回 | | | | | 第12回 | | | | | 第13回 | | | | |
|-------------------------|-----------|-----------|------------------|------|----------------------|-----------|-----------|-------|-------------|----------------------|-----------|-----------|-------|---------------|
| 第11回スノーボード選手権南関東大会 | | | | | 第12回スノーボード選手権大会南関東大会 | | | | | 第13回スノーボード選手権大会南関東大会 | | | | |
| 2006.01.14-15 | | | | | 2007.01.21-22 | | | | | 2008.01.06-07 | | | | |
| 尾瀬戸鞍スキー場 | | | | | 尾瀬戸倉スキー場 | | | | | 尾瀬戸倉スキー場 | | | | |
| 種目 | SAK 順位 | FIS 順位 | 名前 | クラブ名 | 種目 | SAK 順位 | FIS 順位 | 名前 | クラブ名 | 種目 | SAK 順位 | FIS 順位 | 名前 | クラブ名 |
| Giant Slalom M | 1 | | HATTORI FUYUKI | | 男子 GS | 1 | 11 | 玉木 啓太 | ビュアスポーツクラブ | 男子 GS | 1 | 6 | 小栗 大地 | 横浜 |
| | 2 | | NAKANISHI KEN | | | 2 | 13 | 小栗 大地 | 横浜スノーボードクラブ | | 2 | 13 | 白水 翔 | 湘南雪だるま |
| | 3 | | AOYAMA TAKAYUKI | | | 3 | 14 | 白水 翔 | 湘南雪だるま | | 3 | 14 | 長岡 英明 | Japan-Factory |
| | 4 | | KON TAKUHIRO | | | 4 | 18 | 小嶋 大翔 | GSS WINGS | | 4 | 15 | 垣越 真論 | GSS WINGS |
| | 5 | | KOBAYASHI MANABU | | | 5 | 24 | 上原 薫生 | 川崎スノーボードクラブ | | 5 | 16 | 小嶋 大翔 | GSS WINGS |
| | 6 | | INOUE TAKAHIRO | | | 6 | | | | | 6 | 19 | 渡部 亮 | 湘南市役所スキー部 |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| Parallel Slalom M | 1 | | HATTORI FUYUKI | | 男子 SL | 1 | 3 | 白水 翔 | 湘南雪だるま | 男子 SL | 1 | 9 | 白水 翔 | 湘南雪だるま |
| | 2 | | NOFUJI YUUKI | | | 2 | 13 | 小嶋 大翔 | GSS WINGS | | 2 | 13 | 垣越 真論 | GSS WINGS |
| | 3 | | WADA YOSHIHIRO | | | 3 | 19 | 堀之内 剛 | 川崎スノーボードクラブ | | 3 | 15 | 渡部 亮 | 湘南市役所スキー部 |
| | 4 | | OHNO TOMOYA | | | 4 | 22 | 上原 薫生 | 川崎スノーボードクラブ | | 4 | 18 | 小嶋 大翔 | GSS WINGS |
| | 5 | | FUKAMI MASASHI | | | 5 | 24 | 小栗 大地 | 川崎スノーボードクラブ | | 5 | 20 | 澤井 恭介 | GSS WINGS |
| | 6 | | KON TAKUHIRO | | | 6 | 28 | 山本 洋司 | GSS WINGS | | 6 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| Giant Slalom L | 1 | | HASHIMOTO SAYURI | | 女子 GS | 1 | 6 | 館山 美和 | ビュアスポーツクラブ | 女子 GS | 1 | 5 | 和田 友子 | ビュアスポーツクラブ |
| | 2 | | SATOH EMI | | | 2 | 9 | 石井 翠 | 川崎スノーボードクラブ | | 2 | 7 | 石井 翠 | 川崎スノーボードクラブ |
| | 3 | | MIYATAKE SHOHKO | | | 3 | 11 | 城所佳名子 | GSS WINGS | | 3 | 13 | 小谷 玲愛 | GSS WINGS |
| | 4 | | MARUYAMA MIKI | | | 4 | | | | | 4 | | | |
| | 5 | | WADA ARISA | | | 5 | | | | | 5 | | | |
| | 6 | | SATO EIKO | | | 6 | | | | | 6 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| Parallel Slalom L | 1 | | HASHIMOTO SAYURI | | 女子 SL | 1 | 5 | 城所佳名子 | GSS WINGS | 女子 SL | 1 | 5 | 和田 友子 | ビュアスポーツクラブ |
| | 2 | | MARUYAMA MIKI | | | 2 | 7 | 館山 美和 | ビュアスポーツクラブ | | 2 | 6 | 石井 翠 | 川崎スノーボードクラブ |
| | 3 | | SATO EIKO | | | 3 | 10 | 石井 翠 | 川崎スノーボードクラブ | | 3 | 13 | 城所佳名子 | GSS WINGS |
| | 4 | | SATOH SAIKA | | | 4 | 13 | 横山 可奈 | GSS WINGS | | 4 | 14 | 小谷 玲愛 | GSS WINGS |
| | 5 | | MIYATAKE SHOHKO | | | 5 | | | | | 5 | | | |
| | 6 | | SHITAKA AKARI | | | 6 | | | | | 6 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |

神奈川県総合体育大会・総合成績記録

| 第14回 | | | | |
|--------------------|-----------|-----------|-------|---------------|
| 第14回スノーボード選手権南関東大会 | | | | |
| 2009.01.29 | | | | |
| 尾瀬戸倉スキー場 | | | | |
| 種目 | SAK 順位 | FIS 順位 | 名前 | クラブ名 |
| 男子 GS | 1 | 3 | 深見 将志 | Japan-Factory |
| | 2 | 11 | 小栗 大地 | 横浜スノーボードクラブ |
| | 3 | 14 | 澤井 恭介 | GSS WINGS |
| | 4 | 16 | 長岡 英明 | Japan-Factory |
| | 5 | 17 | 垣越 真論 | GSS WINGS |
| | 6 | 19 | 内山 翠山 | ワーススノーボードクラブ |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 男子 SL | 1 | 4 | 深見 将志 | Japan-Factory |
| | 2 | 9 | 長岡 英明 | Japan Factory |
| | 3 | 12 | 小栗 大地 | 横浜スノーボードクラブ |
| | 4 | 15 | 小嶋 大翔 | GSS WINGS |
| | 5 | 17 | 澤井 恭介 | GSS WINGS |
| | 6 | 18 | 垣越 真論 | GSS WINGS |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 女子 GS | 1 | 1 | 塚本 和泉 | GSS WINGS |
| | 2 | 1 | 城所佳名子 | GSS WINGS |
| | 3 | 13 | 清水 敦子 | 横浜スノーボードクラブ |
| | 4 | 14 | 小谷 玲愛 | GSS WINGS |
| | 5 | 15 | | |
| | 6 | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 女子 SL | 1 | 11 | 城所佳名子 | GSS WINGS |
| | 2 | 13 | 塚本 和泉 | GSS WINGS |
| | 3 | 16 | 清水 敦子 | 横浜スノーボードクラブ |
| | 4 | 17 | 小谷 玲愛 | GSS WINGS |
| | 5 | | | |
| | 6 | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| | 第51回 | 第52回 | 第53回 | 第54回 | 第55回 |
|-----|---------|---------|-------|---------|---------|
| | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 |
| 期 日 | 2.25～27 | 2.23～25 | 3.1～3 | 2.22～25 | 2.28～29 |
| 会 場 | 津南 | 津南 | 津南 | 津南 | 白馬五竜 |
| 1 位 | 相模原市 | 相模原市 | 相模原市 | 川崎市 | 相模原市 |
| 2 位 | 横浜市 | 横浜市 | 横浜市 | 相模原市 | 横須賀市 |
| 3 位 | 厚木市 | 厚木市 | 川崎市 | 横浜市 | 横浜市 |
| 4 位 | 川崎市 | 藤沢市 | 横須賀市 | 厚木市 | 川崎市 |
| 5 位 | 大和市 | 横須賀市 | 厚木市 | 横須賀市 | 厚木市 |
| 6 位 | 鎌倉市 | 川崎市 | 大和市 | 平塚市 | 平塚市 |

| | 第56回 | 第57回 | 第58回 | 第59回 | 第60回 |
|-----|---------|---------|---------|----------|---------|
| | 17年 | 18年 | 19年 | 20年 | 21年 |
| 期 日 | 2.25～27 | 2.24～26 | 2.23～25 | 2.29～3.2 | 2.26～28 |
| 会 場 | 白馬五竜 | 白馬五竜 | 白馬五竜 | 白馬五竜 | 白馬五竜 |
| 1 位 | 相模原市 | 相模原市 | 相模原市 | 横浜市 | 相模原市 |
| 2 位 | 横浜市 | 横浜市 | 横浜市 | 相模原市 | 横浜市 |
| 3 位 | 横須賀市 | 厚木市 | 鎌倉市 | 横須賀市 | 横須賀市 |
| 4 位 | 川崎市 | 鎌倉市 | 平塚市 | 川崎市 | 厚木市 |
| 5 位 | 厚木市 | 川崎市 | 厚木市 | 厚木市 | 川崎市 |
| 6 位 | 鎌倉市 | 横須賀市 | 川崎市 | 鎌倉市 | 平塚市 |

国民体育大会冬季大会スキー代表選手

| | 第55回 | 第56回 | 第57回 | 第58回 | 第59回 | |
|--------------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|
| 期 日 | 平成12年2月19日～22日 | 平成13年2月18日～21日 | 平成14年2月20日～23日 | 平成15年2月22日～25日 | 平成16年2月21日～24日 | |
| 会 場 | 富山県大山町 | 長野県 | 新潟妙高国体 | 北海道士別市名寄 | 山形県「べにばな国体」 | |
| 大 回 転 | 成年男子1部A | 田島 伸浩 | 蔵本 浩一 | 三星 雄大 | 関水 文俊 | 三星 雄大 |
| | | 河野 洋平 | 小林伊芙樹 | 蔵本 浩一 | 河口 鉦太郎 | 佐宗 洋彦 |
| | | 岡本晋二郎 | 尾花 研 | 濱 秀徳 | 三星 雄大 | 森 健 |
| | 成年男子1部B | 尾花 研 | 三星 雄大 | 森 健 | 森 健 | 水口 朋哉 |
| | | 西 秀明 | 石田 庄司 | 北埜 章弘 | 下村 泰則 | 下村 泰則 |
| | | 永吉 登 | 伊藤 雄一 | 草間 弘樹 | 伊藤 雄一 | 原田 健司 |
| | 成年男子1部C | 市川 高広 | 岡部 康之 | 伊藤 雄一 | 草間 弘樹 | 雄花 研 |
| | | 小笠原 明 | 大森 睦弘 | 北野 教正 | 牧野 高行 | 北野 教正 |
| | | 谷口 雄大 | 西 秀明 | 谷口 雄大 | 石川 好之 | 比留間 悟 |
| | 青年男子2部 | 大森 睦弘 | 谷口 雄大 | | 北野 教正 | 草間 弘樹 |
| | | 三星 雄大 | 土井 裕太 | 池谷 義則 | 外崎 充 | 落合 克允 |
| | | 児玉 尚亮 | 外崎 充 | 平賀 淳人 | 長沢 有祐 | 佐藤 義朗 |
| | 少 年 男 子 | 河口 鉦太郎 | 森 健 | 外崎 充 | 小野 寺利治 | 阿多 宏峻 |
| | | 塚越 好 | 渡部 祐也 | 土井 雄太 | | 小野 文彰 |
| | | 森 健 | 田沼 将太 | | | 林田伊久哉 |
| | 成年女子1部A | 内田 美穂 | 尾崎 さち | 与口 華那 | 佐藤 美佳 | 与口 華那 |
| | | 小林 ゆみ | 古井あすか | | 服部 七穂 | 服部 七穂 |
| | | 尾崎 さち | | | 与口 華那 | 佐藤 美佳 |
| 成年女子1部B | 森川 順子 | 内田 美穂 | 内田 美穂 | 内田 美穂 | 三星真奈美 | |
| | 水野 みどり | 星川 亜希子 | 森川 順子 | 森川 順子 | 内田 美穂 | |
| 成年女子2部 | | | | | | |
| 少 年 女 子 | 与口 華那 | 三星真奈美 | 八木 翔子 | 八木 翔子 | 高井 美弥 | |
| | 門倉美由紀 | 与口 華那 | 門倉美由紀 | 高井 美弥 | 井出 晶子 | |
| | 三星真奈美 | 八木 翔子 | 関 美和子 | 関 美和子 | 田中 未起 | |
| 飛 躍 | 成年男子1部A | 折笠 博史 | 折笠 博史 | 細谷 佳史 | 細谷 佳史 | |
| | 成年男子1部B | | | | | |
| | 成年男子1部C | 西館 健悟 | 西館 健悟 | 西館 健悟 | | |
| 複 合 | 少年男子 | 国井 昌樹 | 国井 昌樹 | | | |
| | 成年男子1部A | 細谷 佳史 | 細谷 佳史 | | | |
| | 成年男子1部B | | | 田中 秀樹 | 田中 秀樹 | |
| 距 離 | 成年男子1部C | 高橋 清光 | 西館 健悟 | 西館 健悟 | 国井 昌樹 | |
| | 成年男子1部A | 西館 健悟 | 高橋 清光 | 高橋 清光 | | |
| | 成年男子1部B | 柿澤 福朗 | 池田 圭二 | 浦野 裕之 | 浦野 裕之 | |
| 離 | 成年男子1部C | 長嶺 嘉洋 | 浦野 裕之 | 池田 圭二 | 柿澤 福朗 | |
| | 成年男子1部A | | 柿澤 福朗 | 柿澤 福朗 | 稗 晶 滋 | |
| | 成年男子1部B | | | | 村山 卓也 | |
| リ レ ー | 成年男子1部C | 縄田 尊司 | 沢田 康浩 | 沢田 康浩 | 長嶺 嘉洋 | |
| | 成年男子1部A | 山田 博俊 | 縄田 尊司 | 縄田 尊司 | 縄田 尊司 | |
| | 成年男子1部B | 伊藤 雅章 | 伊藤 雅章 | 渋谷 悟 | 渋谷 悟 | |
| モ フ リ ー ス タ イ ル | 成年男子1部C | 長谷川幸二 | 富井 稔 | 富井 稔 | 富井 稔 | |
| | 成年男子1部A | 富井 稔 | 長谷川幸二 | 長谷川幸二 | 澤田 康浩 | |
| | 成年男子1部B | 今野 晃彦 | 松丸 義久 | 樋口 清浩 | 長谷川幸二 | |
| グ ラ イ ル | 少年男子 | | | | | |
| | 成年女子1部A | | | | | |
| | 成年女子2部B | 平岡 千春 | 平岡 千春 | | 渡辺 幸子 | |
| リ レ ー | 成年女子2部A | 沖崎 ゆかり | | | | |
| | 成年女子2部B | | | | | |
| | 成年女子2部C | | | | | |
| モ フ リ ー ス タ イ ル | 成年男子 | 柿沢・長嶺・山田・富井 | 池田・浦野・柿澤・富井 | | 浦野・柿澤・稗・村山 | |
| | 成年男子 | | 前野 卓也 | | | |
| | 成年女子 | | 佐藤 義光 | | | |
| グ ラ イ ル | 成年男子 | | 堀田 恵里子 | | | |
| | 成年女子 | | 国料 順子 | | | |
| | 成年男子 | | | | | |

編集後記

創立70周年を迎えた記念事業の一環として、式典並びに祝賀会同様に当然のごとく、記念誌の発刊も決まり、こちらも総務担当理事・広報委員を中心に、委員会が組織され準備に入りました。

既に理事会等で「総合的詳細記念誌は50周年毎とし、それ以外は10周年をひと区切りとする周年事業に併せ発刊する」という、基本的な考え方が明確になっていたので、今回の70周年記念誌は、比較的余裕をもって作業を進める事ができました。とくに日頃から、主な雪上行事には広報委員が同行してくれ、取材はもとより「SAKだより」「ホームページ」への掲載にも、協力をいただいている記録の蓄積が、大きな戦力になったのは言うまでもありません。

表面に出ることもなく、いつも陰で支えていただいている、広報委員皆さんのご尽力に、あらためてお礼を申し上げます。

「従来の記念誌と一味違う記念誌が作れたらいいね。」という作成委員会の意見を具現下するため取り入れたのが、記念式典並びに祝賀会等の模様を、写真を中心に編集することでありました。これは、月日がたつとその当時の資料や写真が散逸してしまい、諸先輩が残してくれた貴重な足跡や思い出を、後世に継承することができなくなるのを、防ぐためでもあります。

そのため発刊は、式典・祝賀会のおよそ1ヶ月後になり、当日（10月3日）ご臨席いただいた皆さんには、後日郵送または宅配送付させていただいた次第でございます。

この記念誌発刊作業を通して感じた事は、わずか10年の歩みの中にも、その当時携わった方々の苦労がしのばれ、“積み重ねてきた足跡の上に今日がある”という日頃忘れかけている事を、思い出させてくれた数ヶ月でもありました。また、日中の仕事を終え疲れている中、週に何回も県連事務所に足を運んでいただき、編集に携わってくれた安藤理事や守谷専門員をはじめ、委員の皆さんに心からお礼を申し上げます。

最後に発刊に際し、ご祝辞や新たな挑戦としてご寄稿いただきました関係諸団体や会員の皆さん、さらには協賛広告にご協力いただきました、各企業・団体に深く感謝申しあげ、編集後記とさせていただきます。

創立70周年記念誌作成委員会
委員長 **野地 澄雄**

創立70周年記念誌作成委員会

2009年(平成21年)10月発行

発行 財団法人 神奈川県スキー連盟
住所 横浜市神奈川区台町16-1 ソレイユ台町407号
電話 045-311-8907
ホームページ <http://www.sak.or.jp/>

編集 ●委員長 野地澄雄（副会長）
●副委員長 安藤 努（総務本部理事）
●委員 富川貴幸、松坂武士、佐久間容子、
山下てるみ、川添徹、筑田則和、
守谷紀幸、守屋匡裕、宮崎弘一、
松下誉久、中里健二、古澤誠司、
三浦亜矢子、高木豊、小田原恭一
（以上 SAK 広報委員）

印刷 有限会社 石黒印刷（協賛会員）
住所 横浜市南区通町3-50-1-101
電話 045-713-0080